

第 13 回県政インターネットモニターアンケート集計結果  
新しい生活様式を意識した住宅に関するアンケート  
薬局の利用に関するアンケート  
南海トラフ地震についての県民意識調査－巨大地震に対する備え

※グラフの中の「n」は、各設問の回答者総数を示す。

※各回答項目の割合（％）は、端数処理の関係上（小数第二位を四捨五入）、合計が 100％にならない場合がある。

○ 新しい生活様式を意識した住宅に関するアンケート

新型コロナウイルス感染症の影響により、新たな生活様式への対応が問われています。このような状況の中で、住宅に関してどのような需要があるかを調査し、今後の住宅施策の取組の参考とさせていただくため、ご協力をお願いします。

○ 薬局の利用に関するアンケート

薬局は、処方箋を受け付けるだけでなく、市販薬などの薬の相談、健康相談に対応し、関係者と連携しながら地域の患者さんを支えていくことが期待されています。そこで、県が行うかかりつけ薬剤師・薬局推進に関する事業の参考とするため、アンケートにご協力ください。

○ 南海トラフ地震についての県民意識調査－巨大地震に対する備え

静岡県から西日本にかけての広い範囲で大きな被害が想定される「南海トラフ地震」はいつ起きてもおかしくないと言われてしています。

県では、県民の皆様の巨大地震に対する考え方や日頃の備えなどについてお伺いし、今後の防災啓発事業を進めていく上での参考にさせていただきたいと考えております。

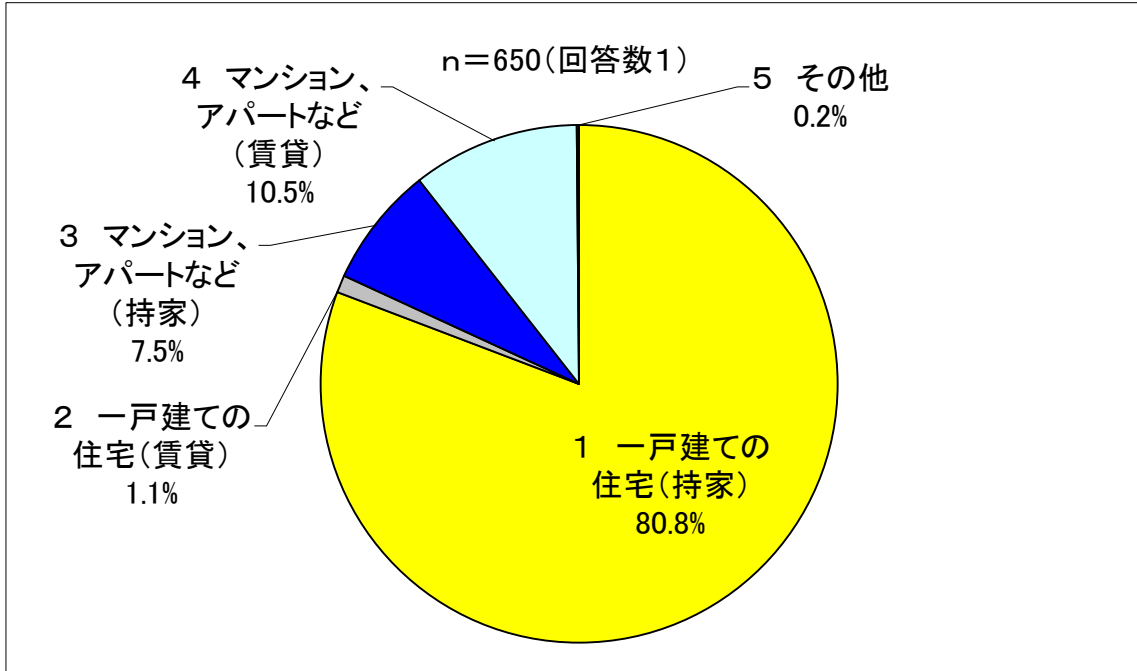
調査は「①巨大地震についての基本的な考え方」と「②巨大地震に対する備え」を 2 回に分け、今回は「②巨大地震に対する備え」についてお聞きします。

お忙しいところ恐れ入りますが、趣旨を御理解いただき、本調査への御協力をお願いします。

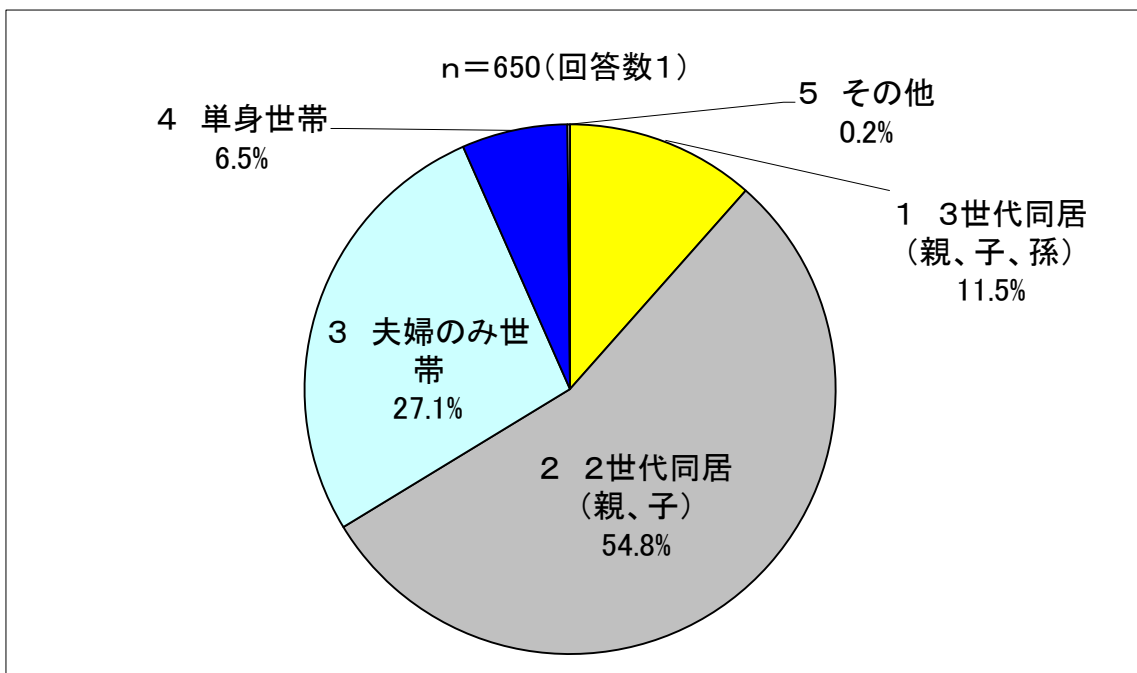
回答者数： 650 人（回答率： 84.7%）			
	カテゴリー名	回答者数	%
性別	男性	294	45.2%
	女性	355	54.6%
	その他	1	0.2%
年代	10代	10	1.5%
	20代	23	3.5%
	30代	83	12.8%
	40代	146	22.5%
	50代	167	25.7%
	60代	110	16.9%
	70代	87	13.4%
	80代	24	3.7%
	90代	0	0.0%
住所	賀茂	8	1.2%
	東部	206	31.7%
	中部	236	36.3%
	西部	200	30.8%
	県外	0	0.0%
職業	自営業	42	6.5%
	会社員	221	34.0%
	公務員	13	2.0%
	パート・内職従事者	125	19.2%
	学生	17	2.6%
	無職	203	31.2%
	その他	29	4.5%

○ 新しい生活様式を意識した住宅に関するアンケート

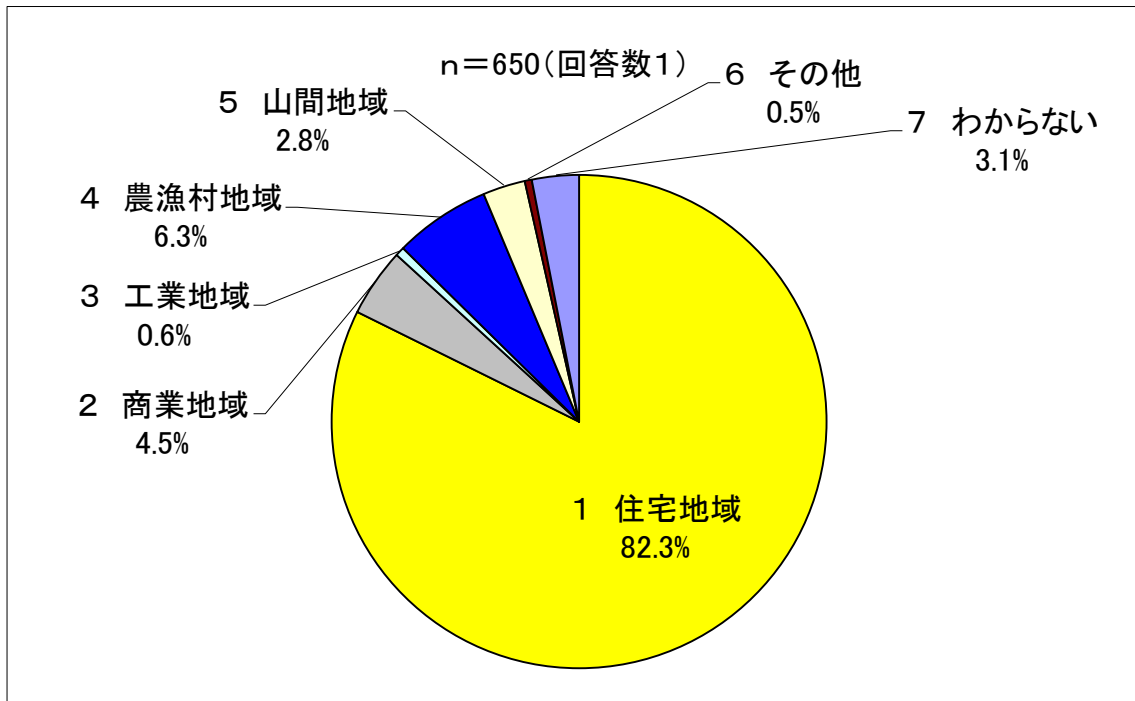
問1 あなたが現在お住まいの住宅は次のどれにあたりますか。(回答数は1つ)



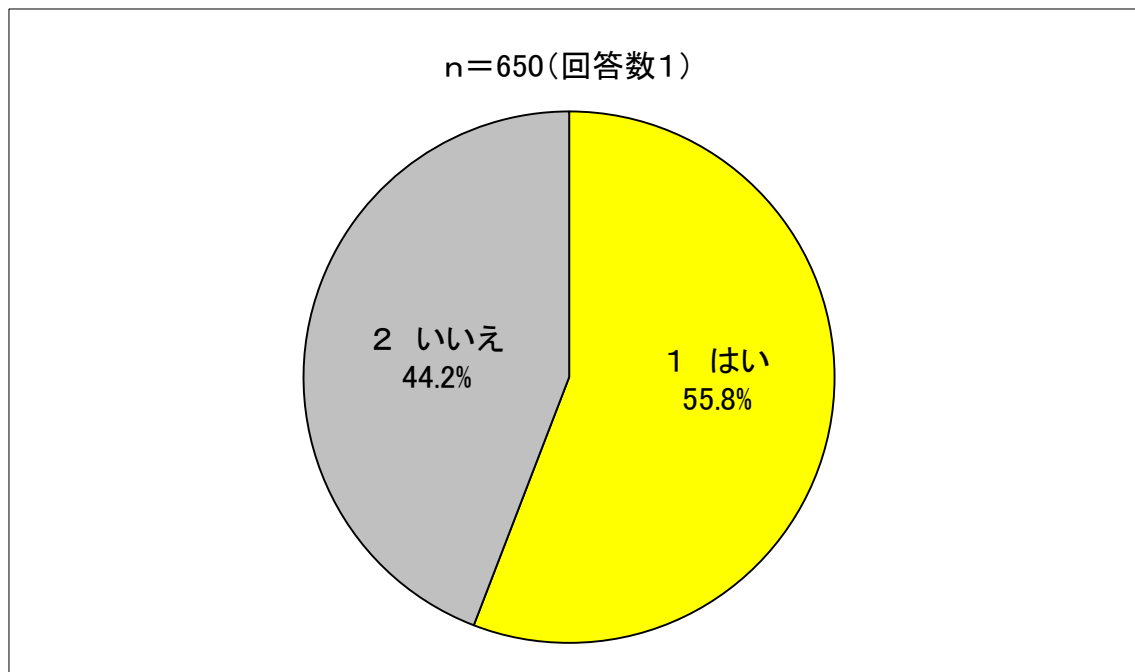
問2 あなたがお住まいの住居の世帯構成は次のうちどれにあたりますか。(回答数は1つ)



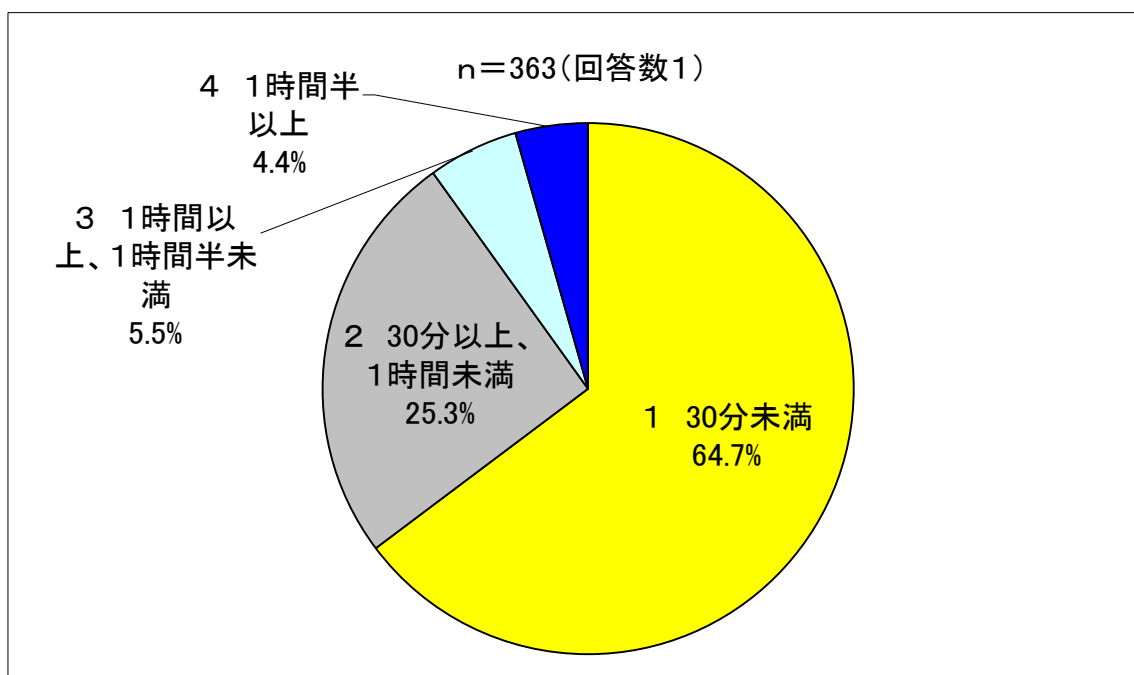
問3 あなたが現在お住まいの地域は次のどれにあたりますか。(回答数は1つ)



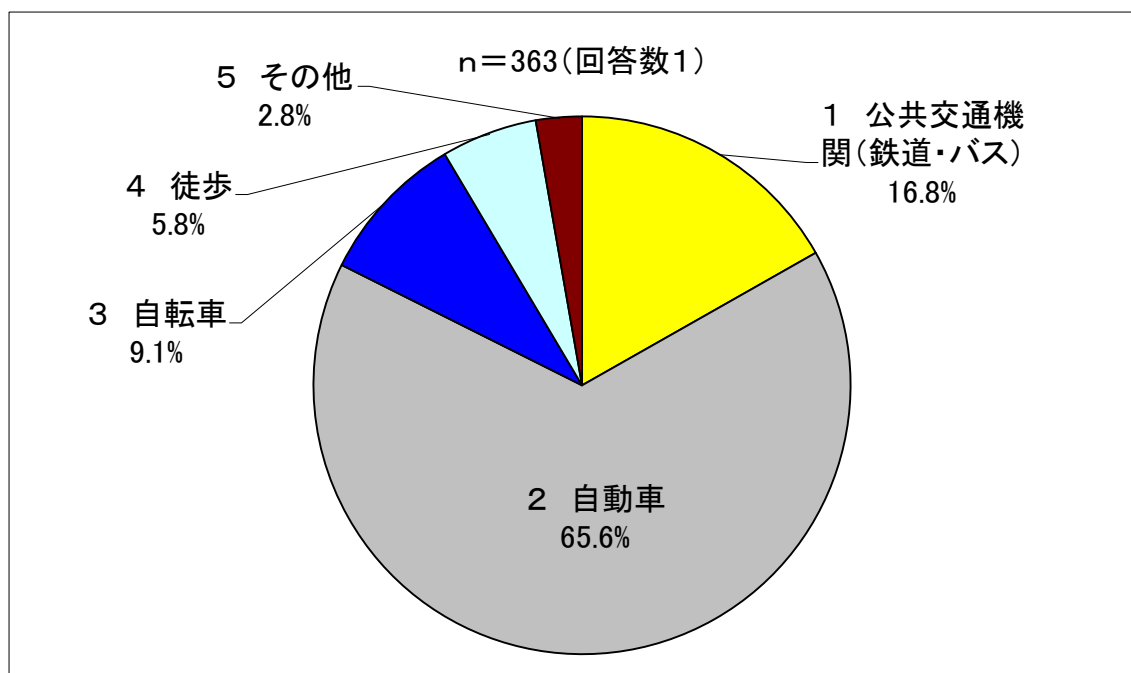
問4 あなたは現在、通勤をしていますか。(回答数は1つ)



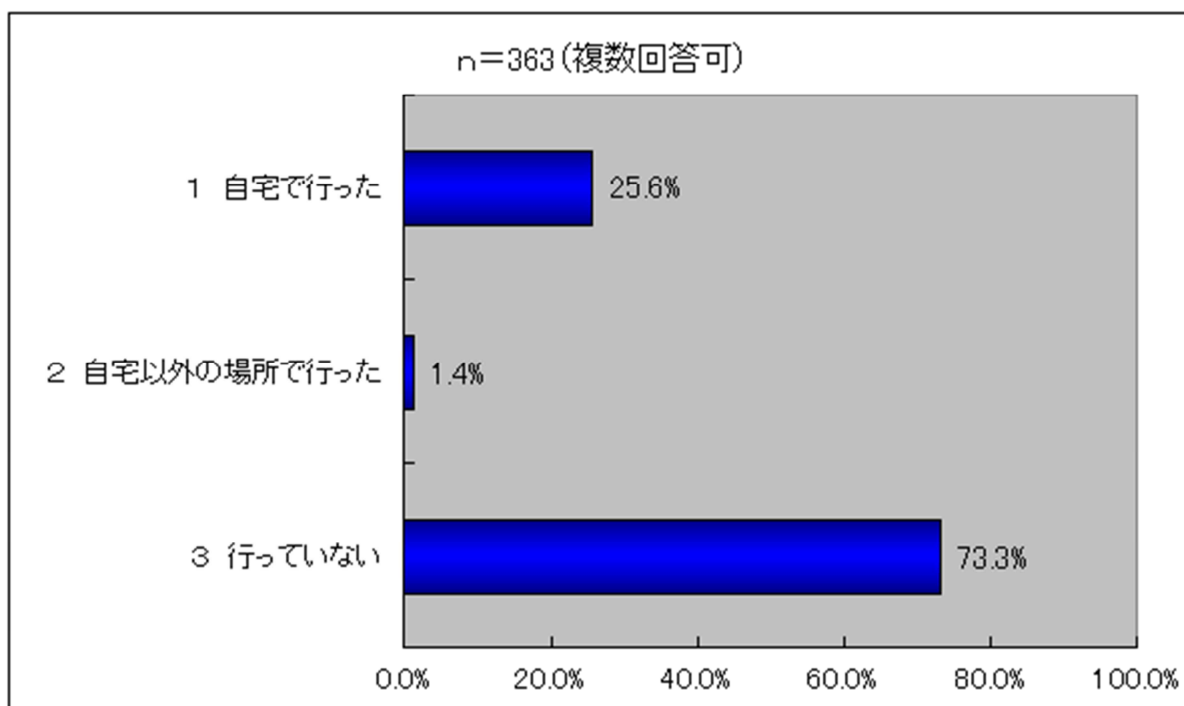
問4-2 問4で選択肢1を選択された方に伺います。通勤時間は次のどれにあたり  
ますか。(回答数は1つ)



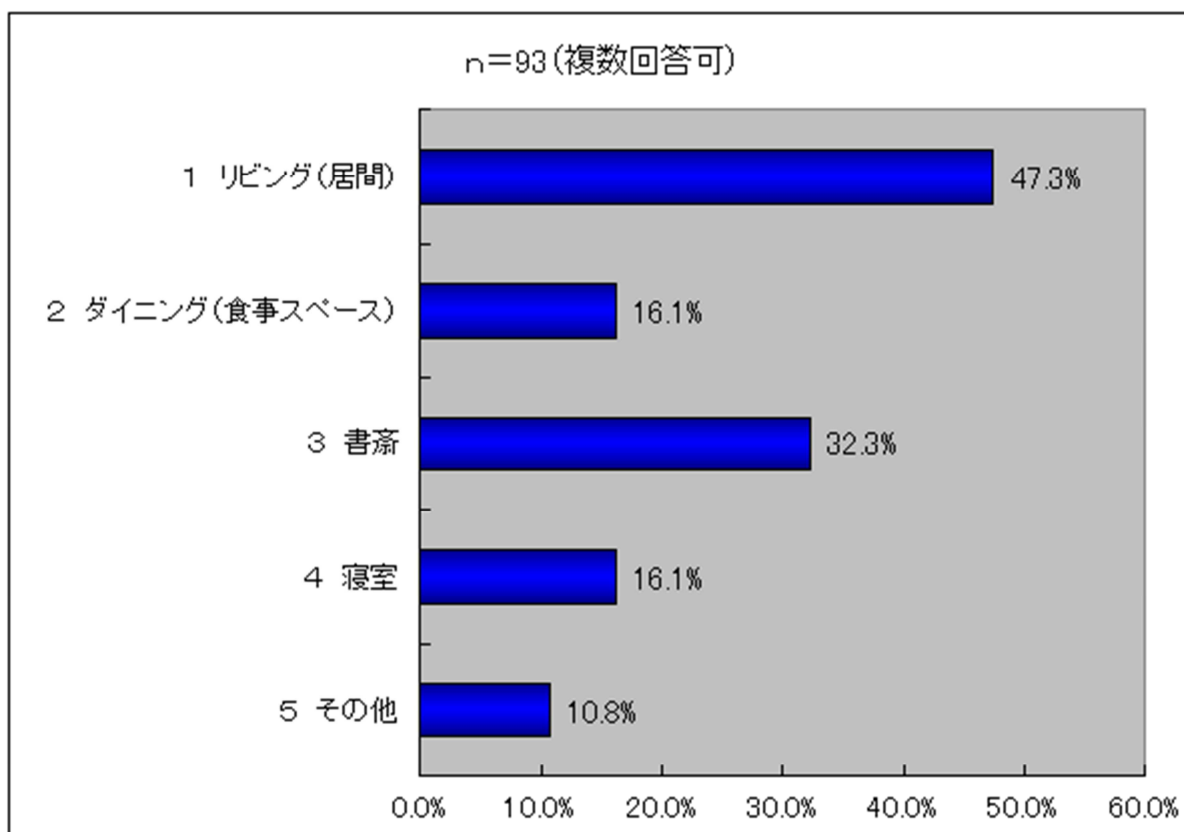
問4-3 問4で選択肢1を選択された方に伺います。主な通勤手段は次のどれにあ  
たりますか。(回答数は1つ)



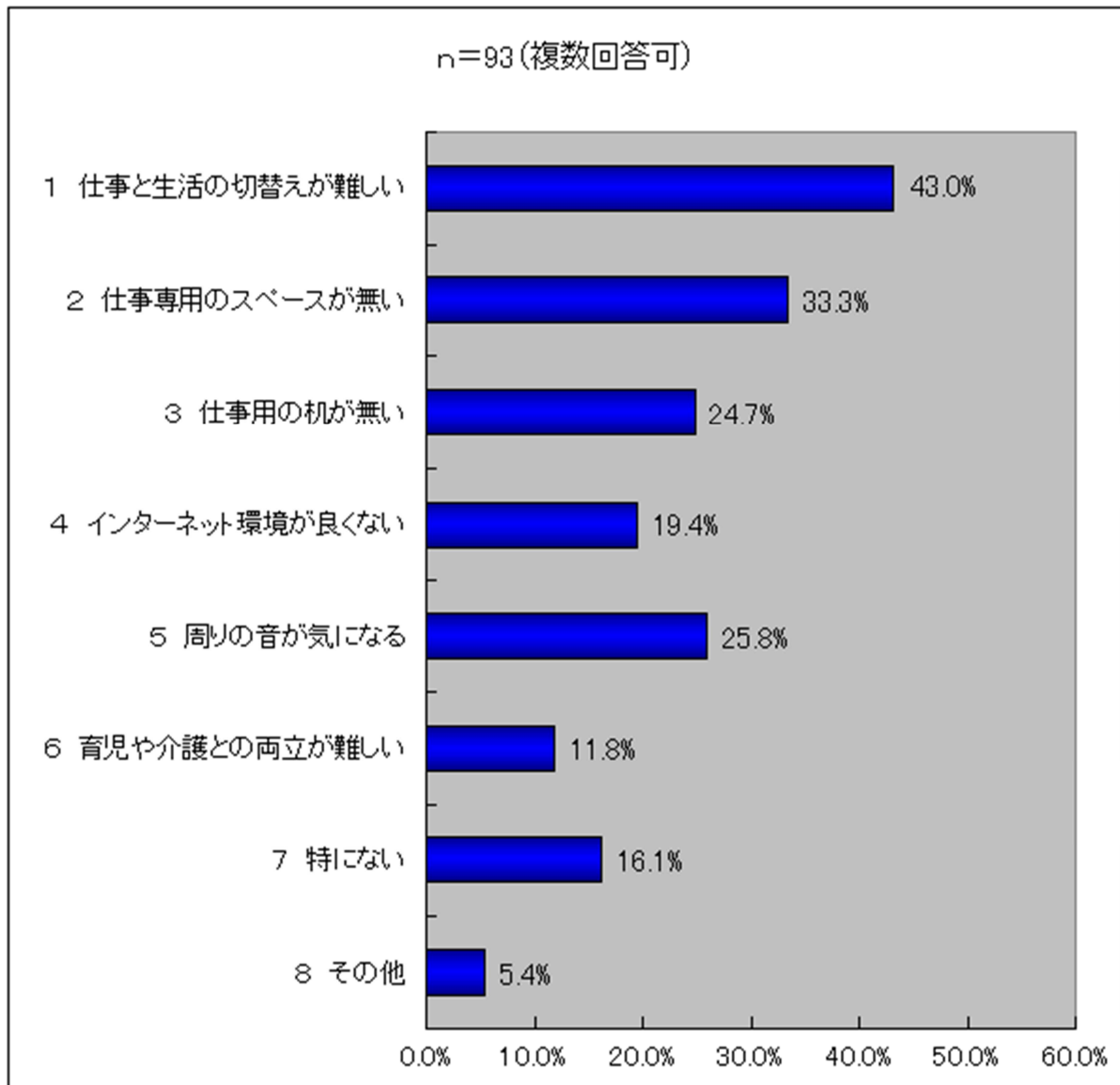
問4-4 問4で選択肢1を選択された方に伺います。新型コロナウイルス感染症拡大以降、テレワークを行いましたか。(複数選択可)



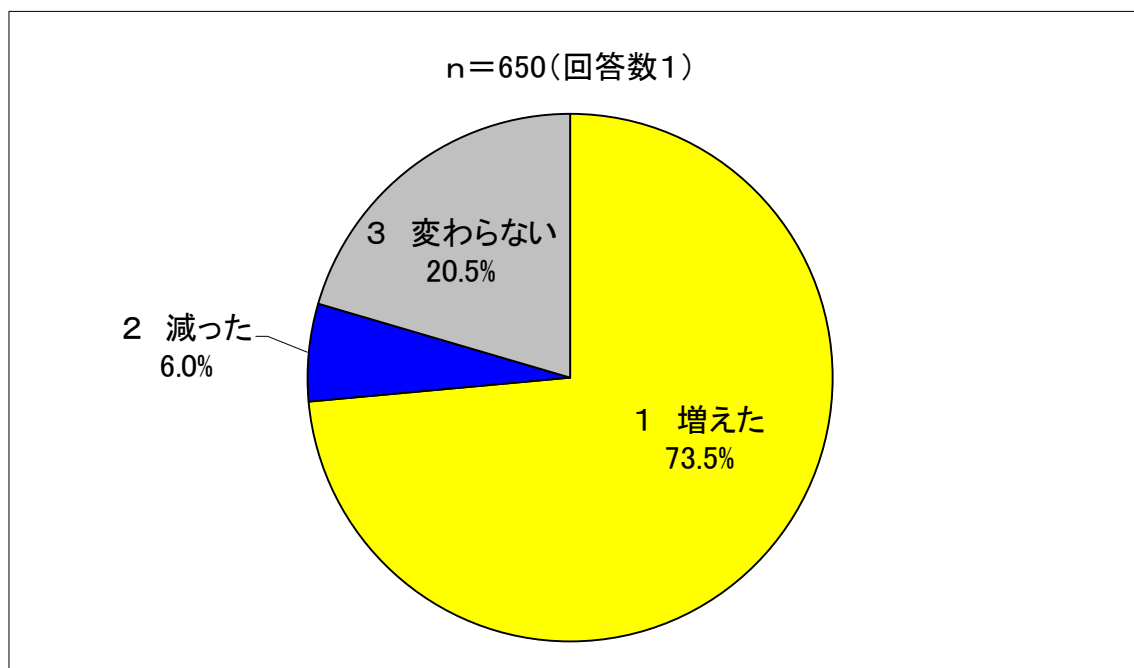
問4-4-2 問4-4で選択肢1を選択された方に伺います。自宅のどのスペースでテレワークを行いましたか。(複数回答可)



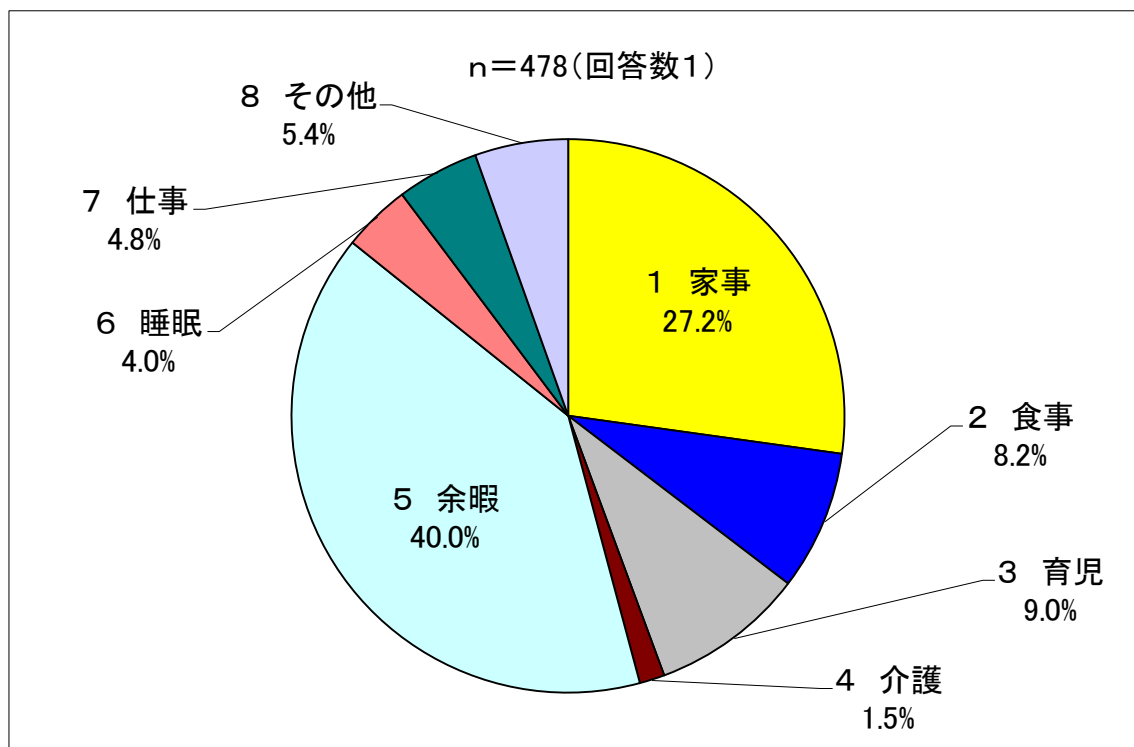
問4-4-3 問4-4で選択肢1を選択された方に伺います。テレワークで不便に感じたことはありますか。(複数回答可)



問5 新型コロナウイルス感染症拡大以降、外出を控え、自宅で過ごす時間が増えましたか。(回答数は1つ)

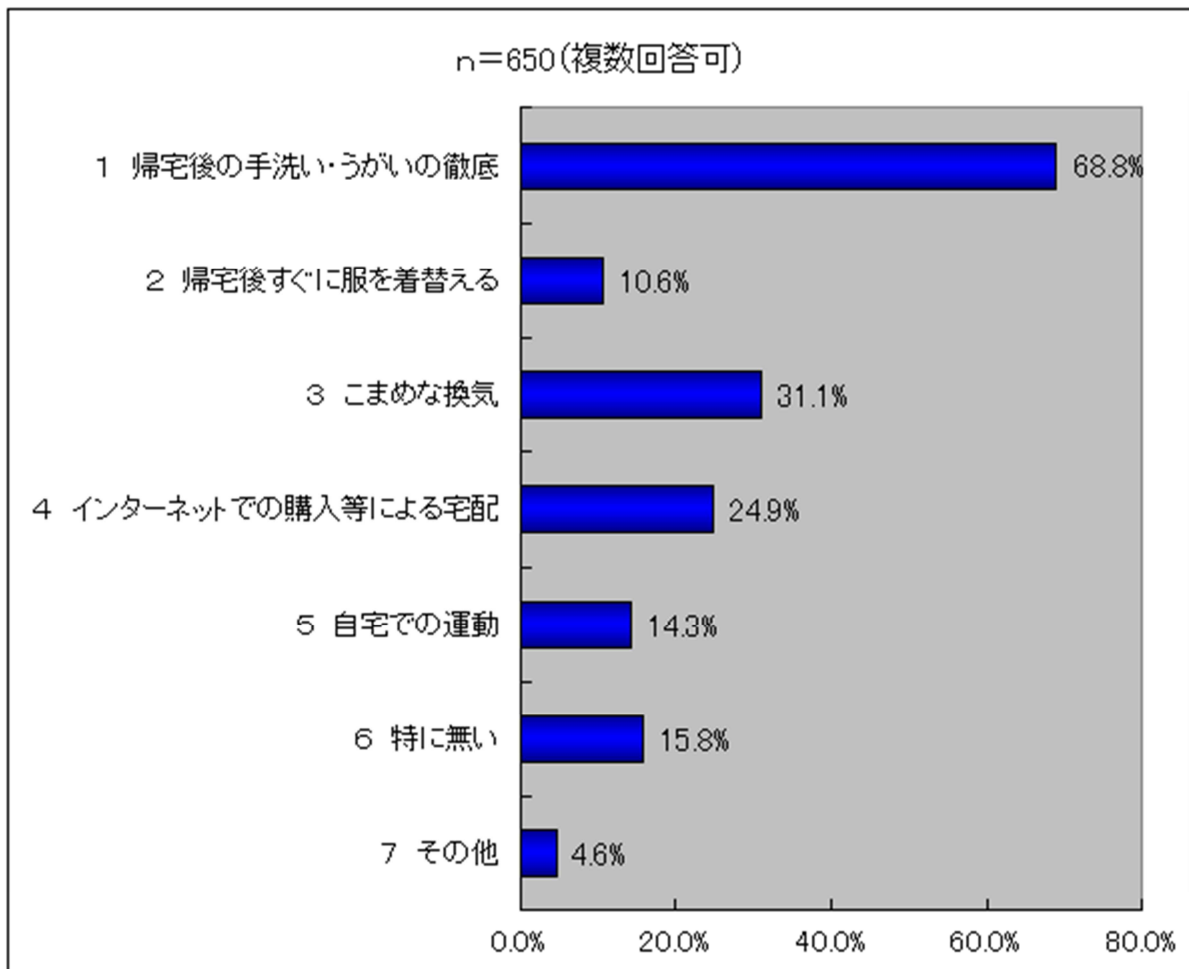


問5-2 問5で選択肢1を選択された方に伺います。自宅で過ごす時間の中で、最も増えたのはどのような時間ですか。(回答数は1つ)

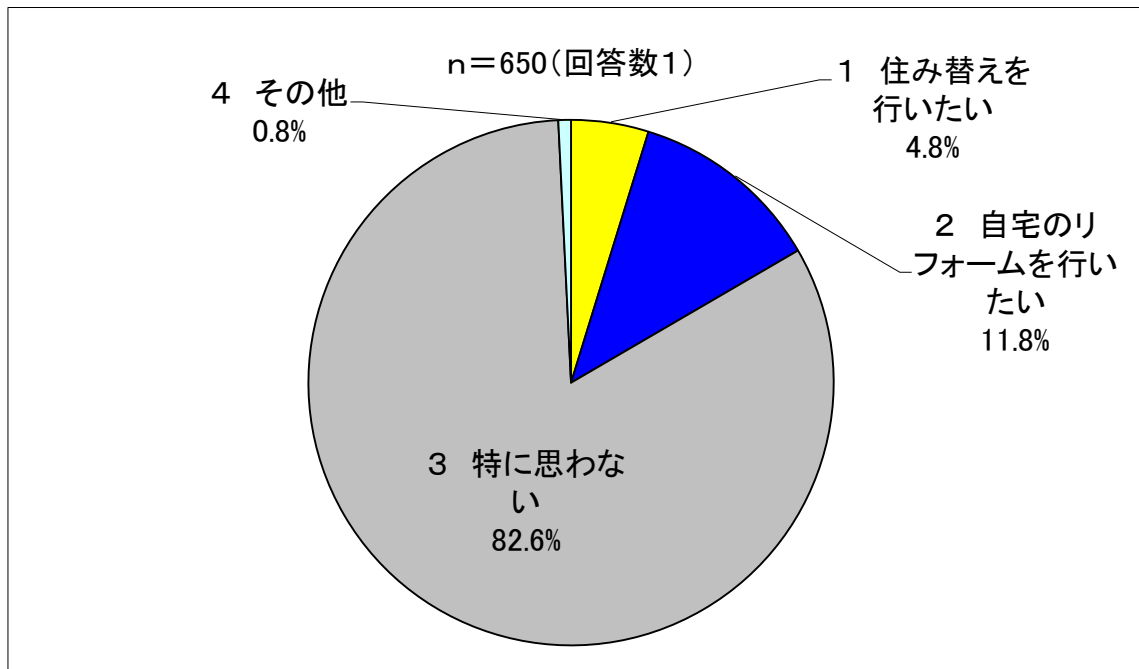




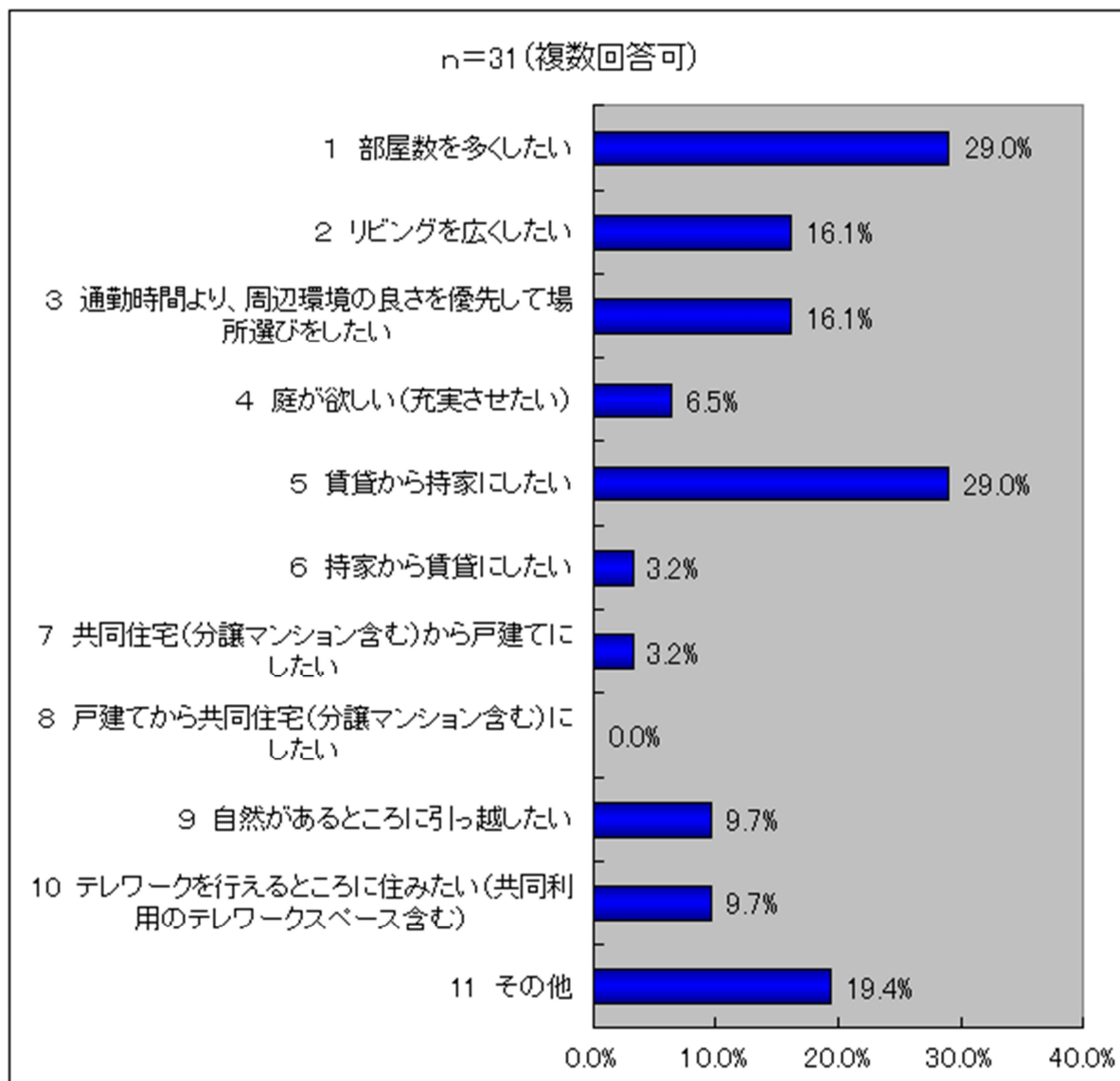
問6 新しい生活様式として、自宅において新たに習慣になったことはありますか。  
(複数回答可)



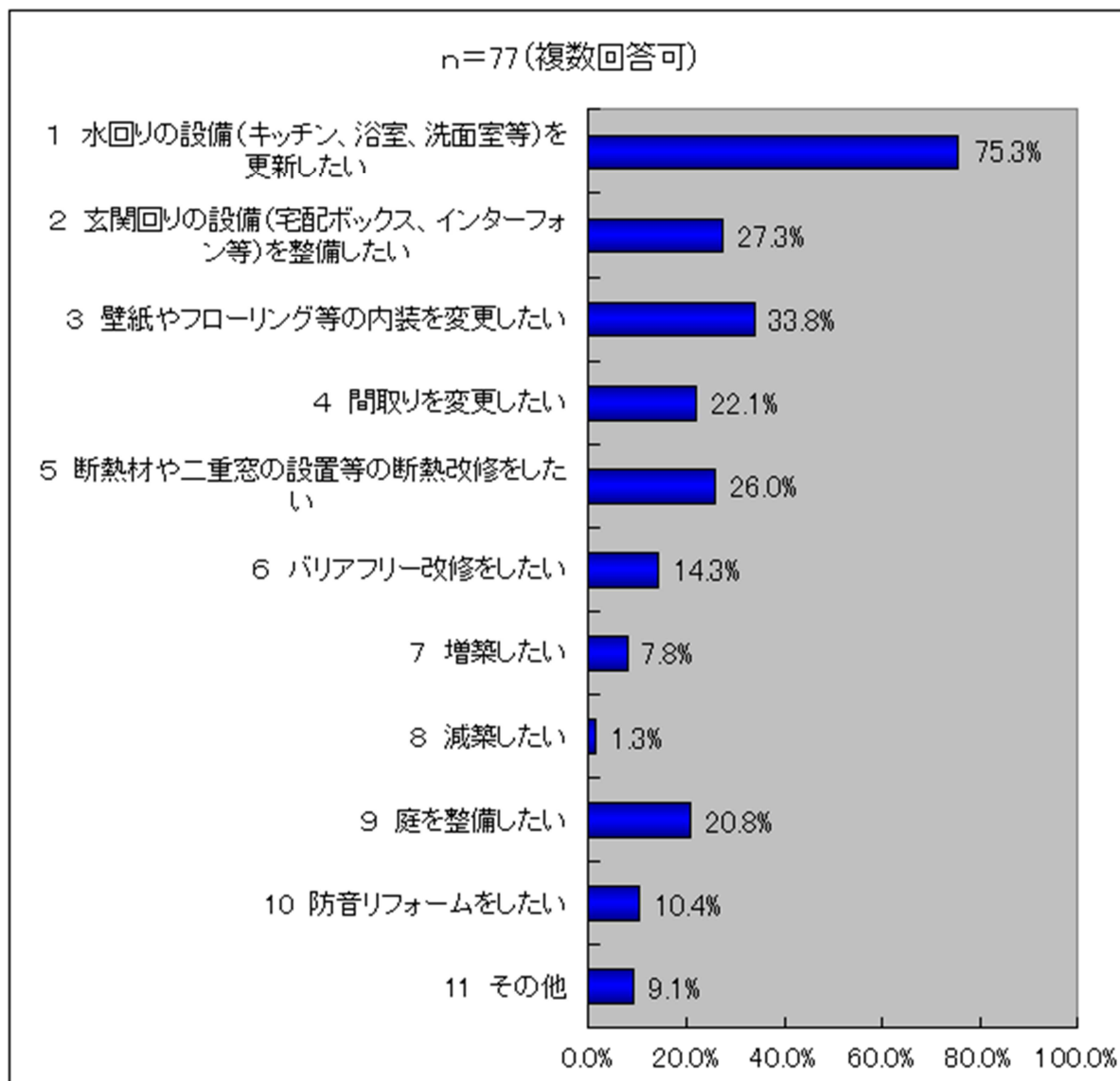
問7 新型コロナウイルス感染症拡大以降、住み替えや自宅のリフォームを行いたいと思いましたが。(回答数は1つ)



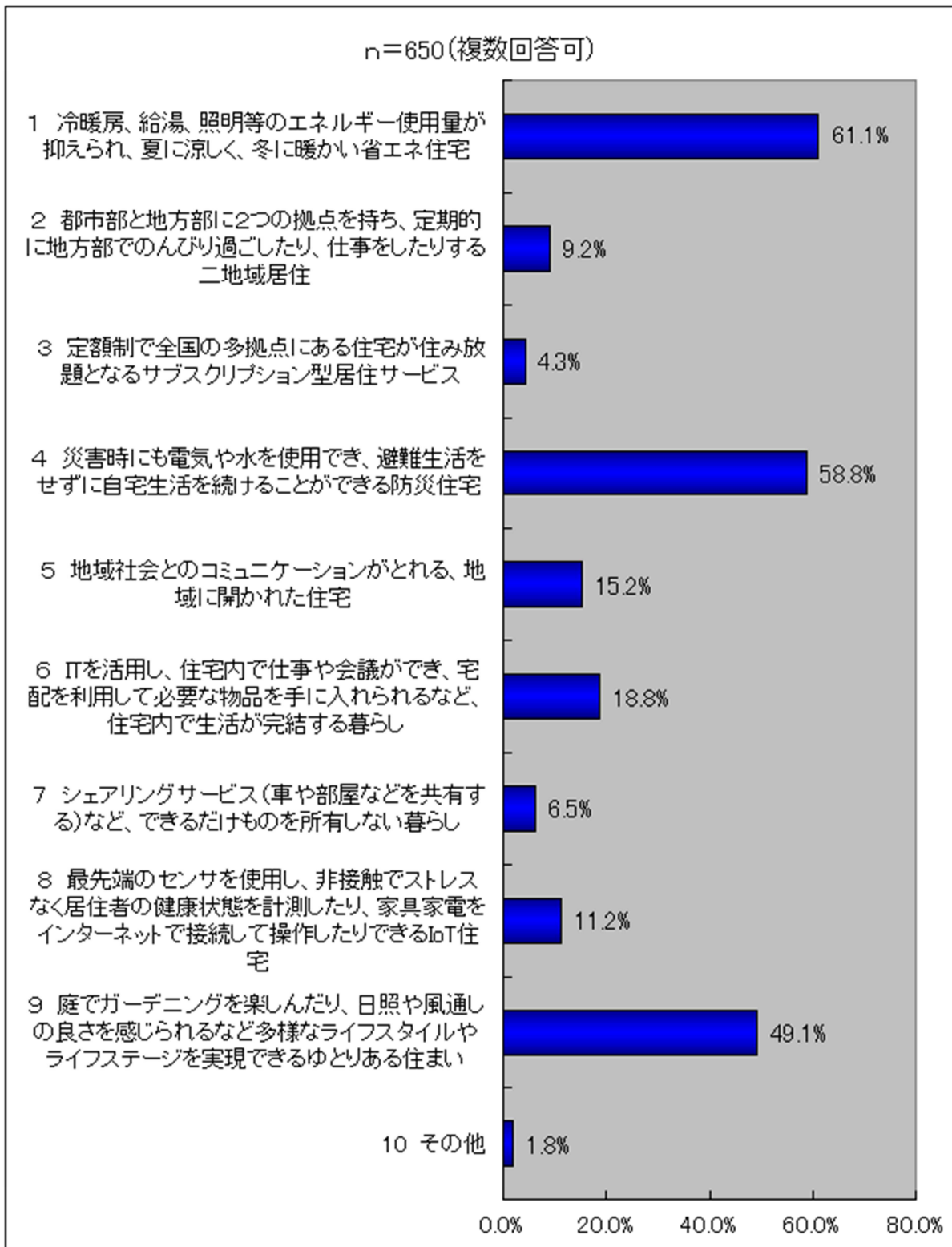
問7-2 問7で選択肢1を選択された方に伺います。どのような住み替えを行いた  
いと思われましたか。(複数回答可)



問7-3 問7で選択肢2を選択された方に伺います。どのようなリフォームを行いたいですか。(複数回答可)



問8 新型コロナウイルス感染症拡大以降、どのような暮らし方や住宅が理想的だと感じていますか。(複数回答可)

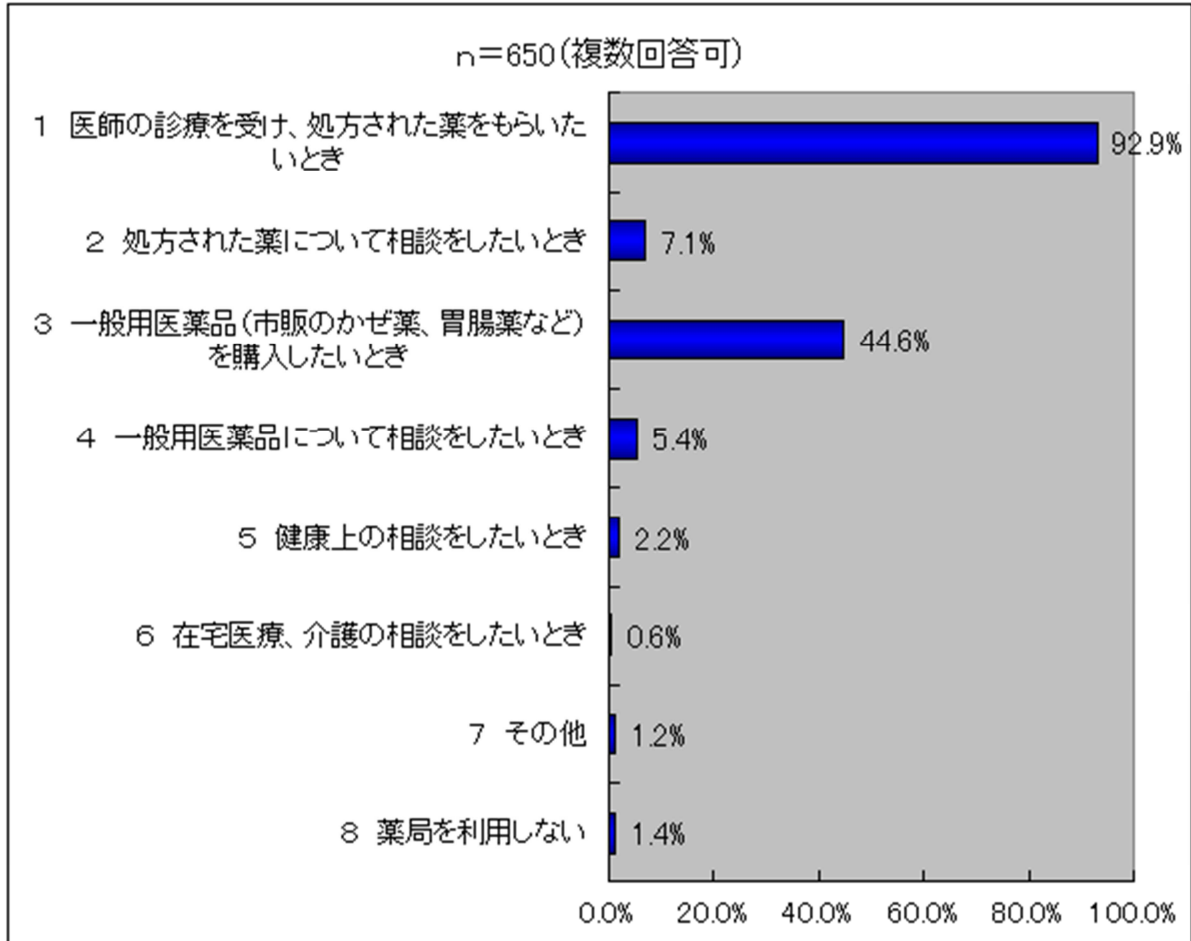


問9 今後の住宅政策について県や市町に要望することがあれば記載してください。  
(500文字以内)

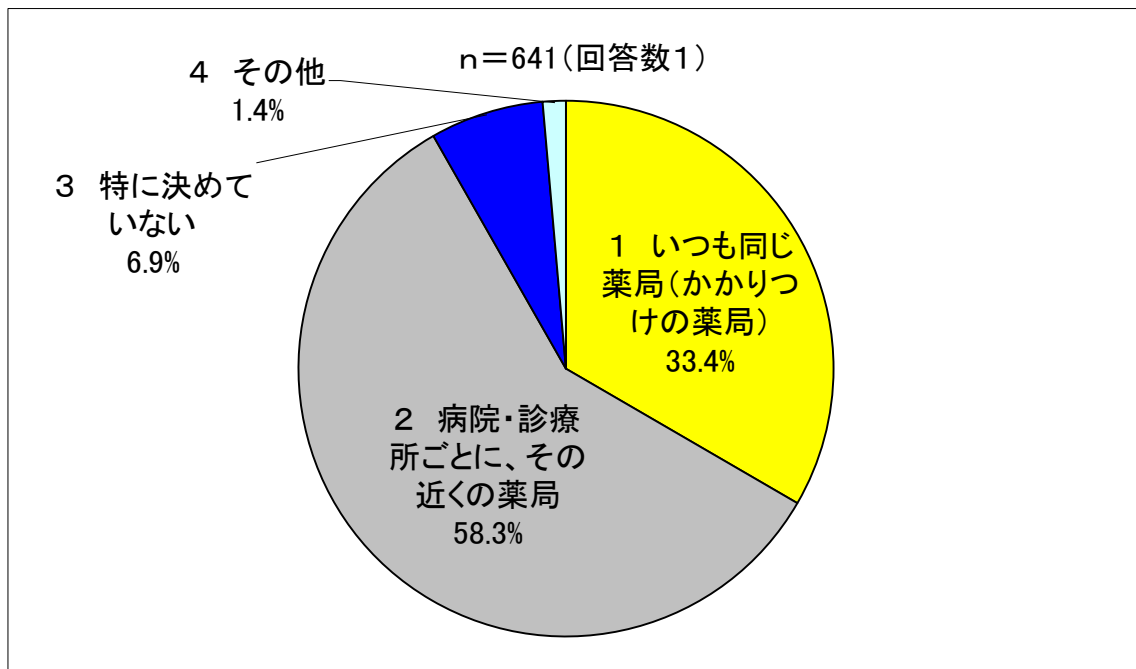
担当課 暮らし・環境部建築住宅局住まいづくり課  
TEL 054-221-3084  
FAX 054-221-3083  
メール [sumai@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:sumai@pref.shizuoka.lg.jp)

○薬局の利用に関するアンケート

問1 普段、どのようなときに薬局を利用していますか。(複数回答可)

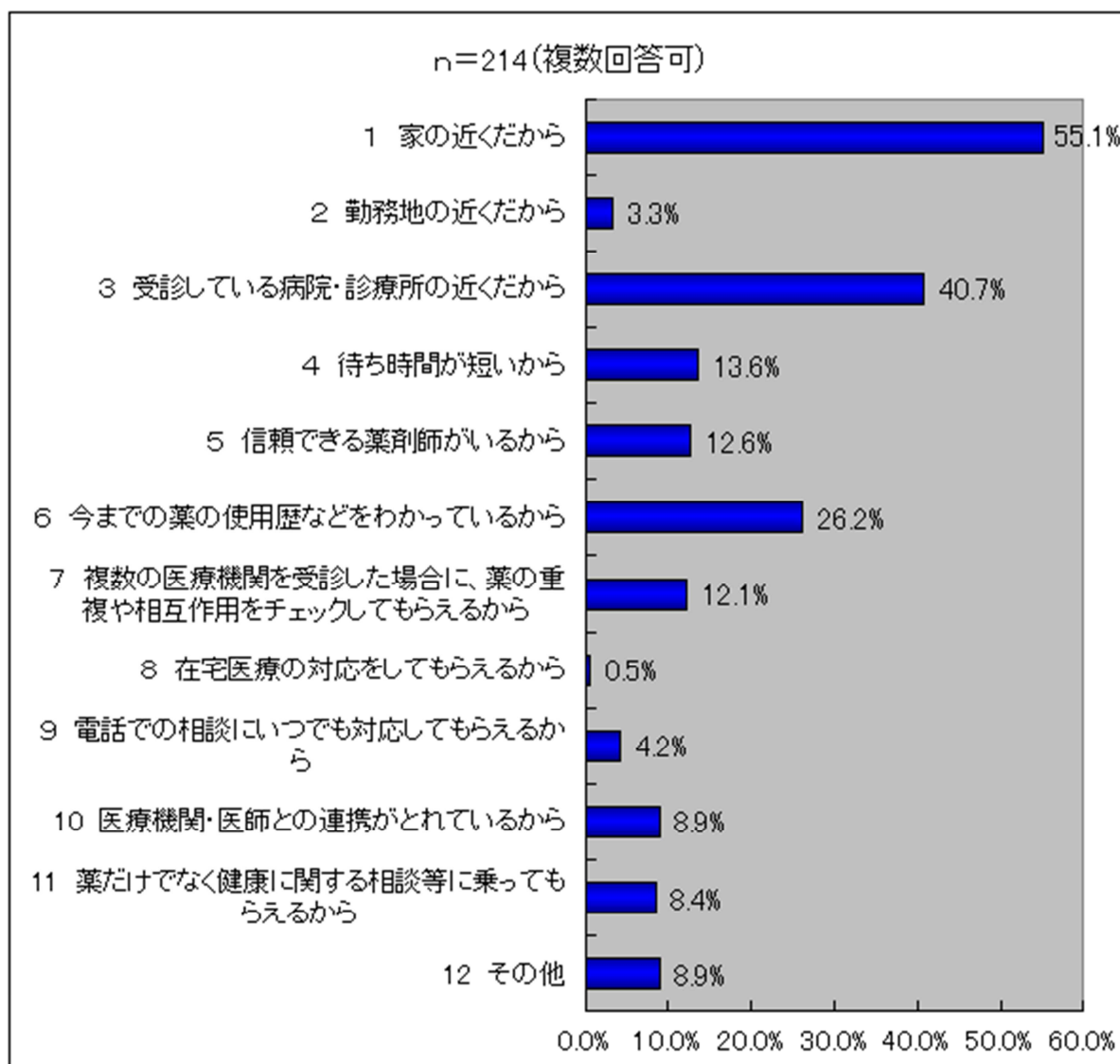


問1-2 問1で選択肢1~7を選択された方に伺います。処方箋を持っていく薬局はどのような薬局ですか。(回答数は1つ)

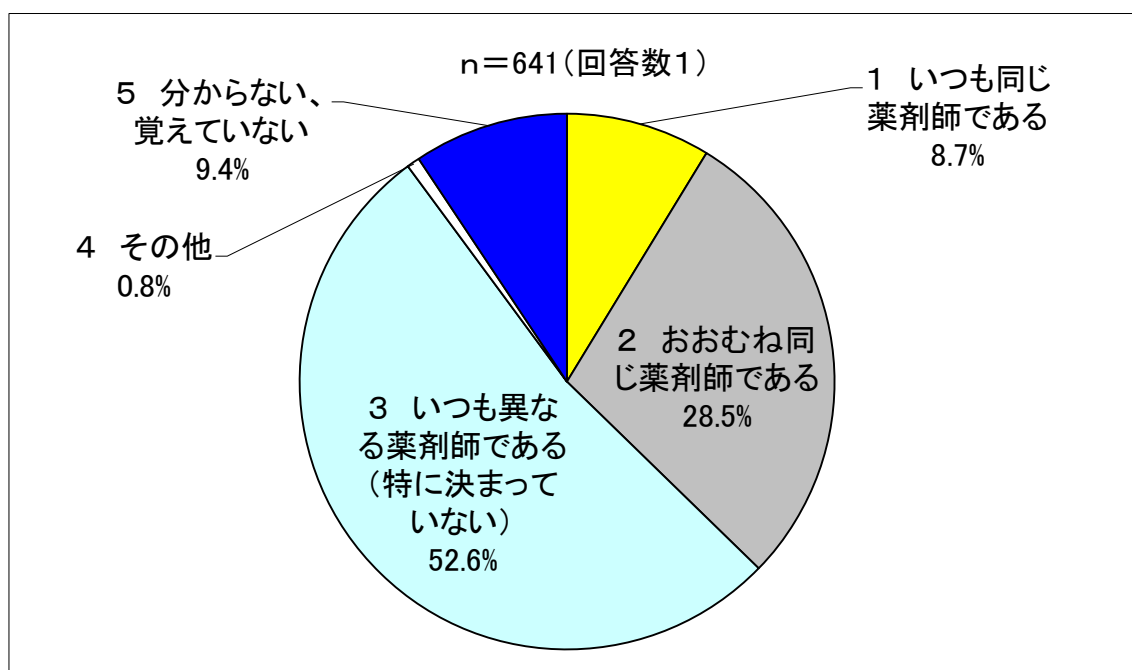




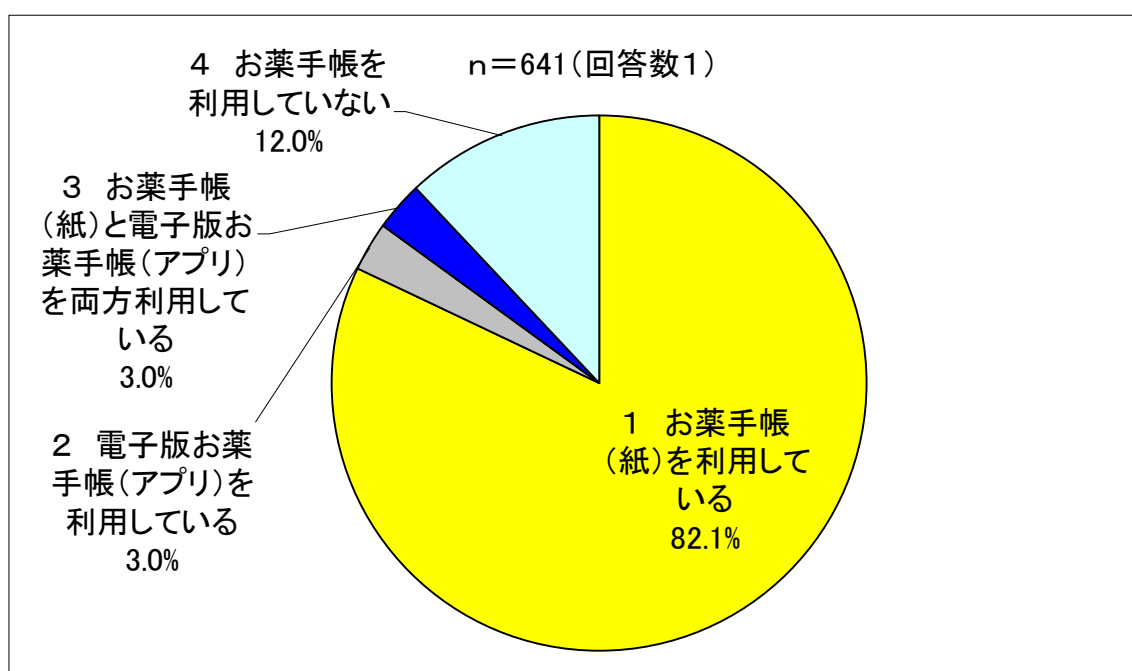
問1-2-2 問1-2で選択肢1を選択された方に伺います。同じ薬局を選ぶ理由は何ですか。(複数回答可)



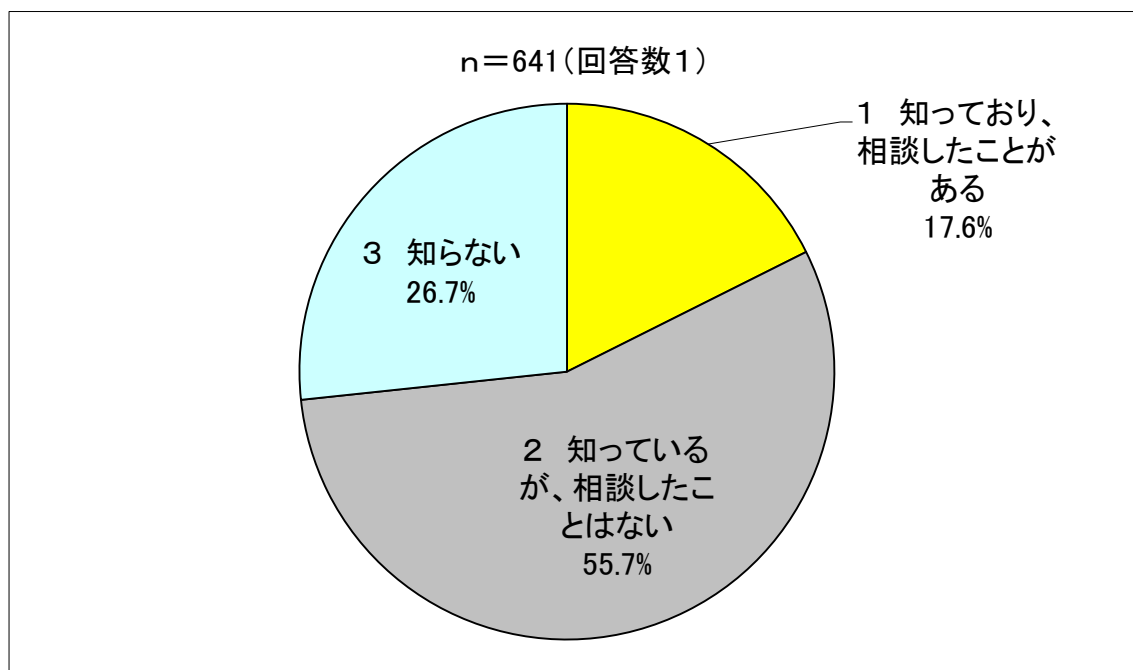
問1-3 問1で選択肢1~7を選択された方に伺います。利用する薬局で対応する薬剤師は同じ薬剤師ですか。(回答数は1つ)



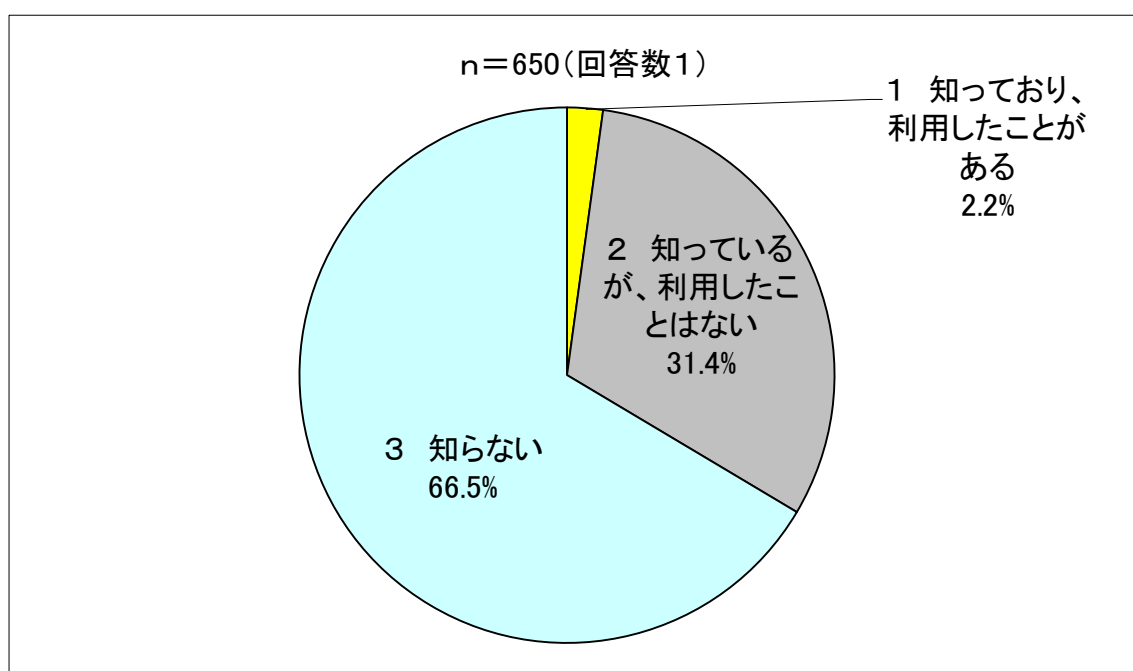
問1-4 問1で選択肢1~7を選択された方に伺います。服用している薬の名前や飲む量、回数、飲み方などを記録するための「お薬手帳」を利用していますか。(回答数は1つ)



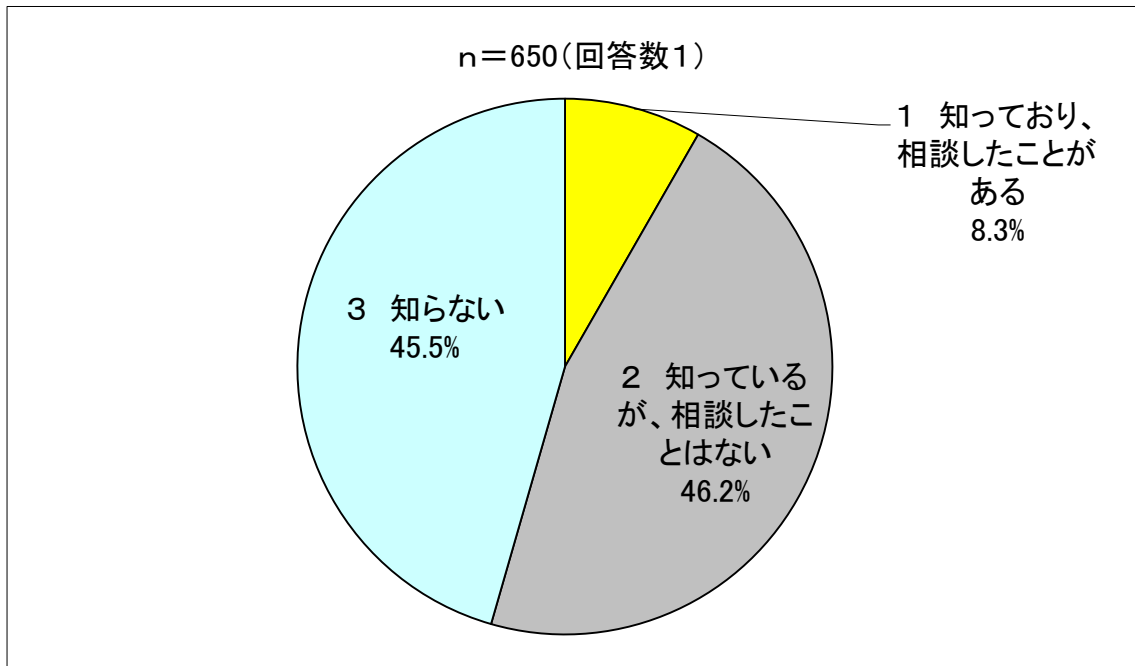
問1-5 問1で選択肢1～7を選択された方に伺います。薬局で交付された薬について不安や疑問が生じたとき、いつでもその薬局に電話相談できることを知っていますか。(回答数は1つ)



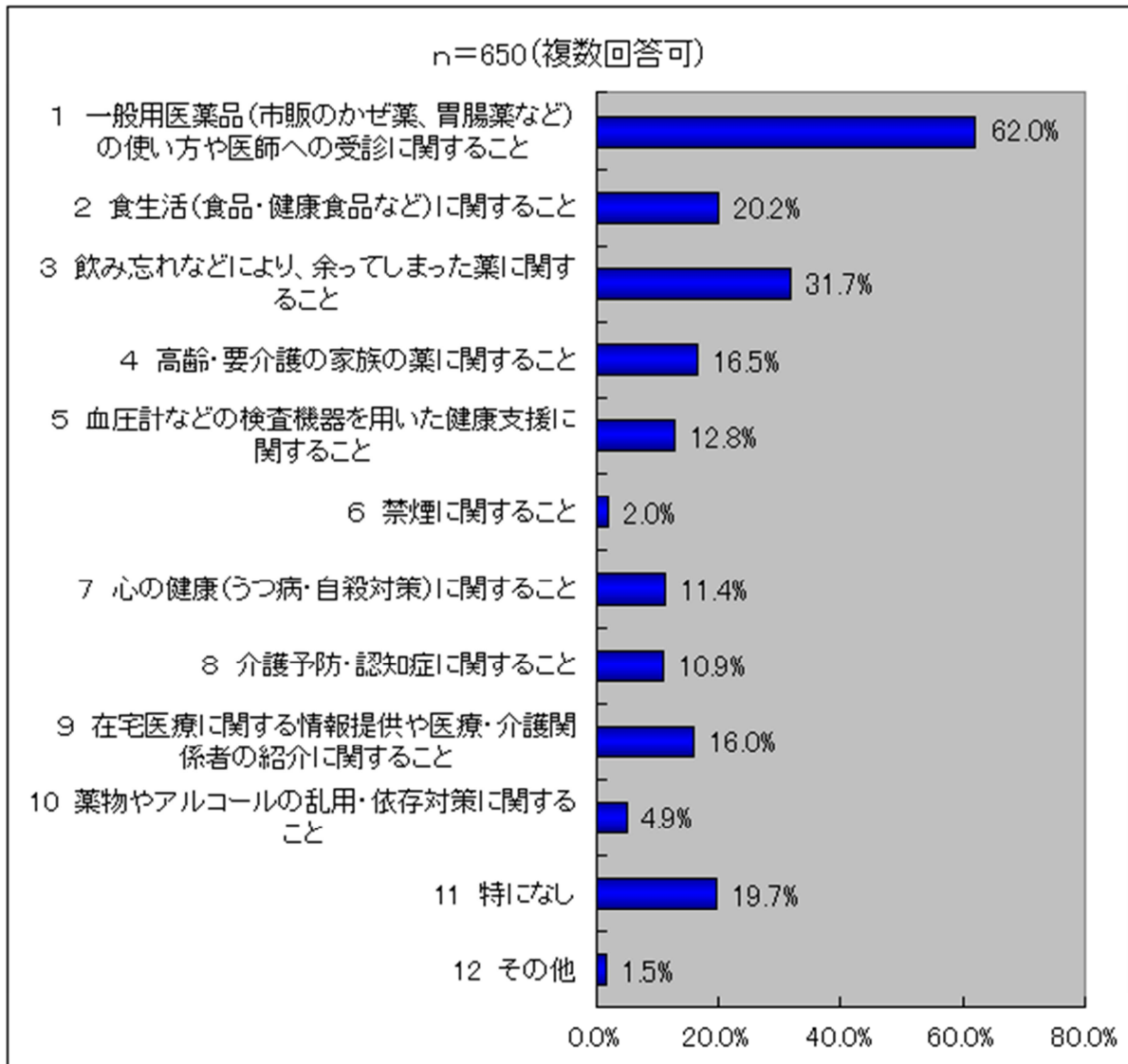
問2 在宅医療で薬が処方されたときに、薬剤師がご家庭に出向いて薬について説明したり、相談に乗ってくれることを知っていますか。(回答数は1つ)



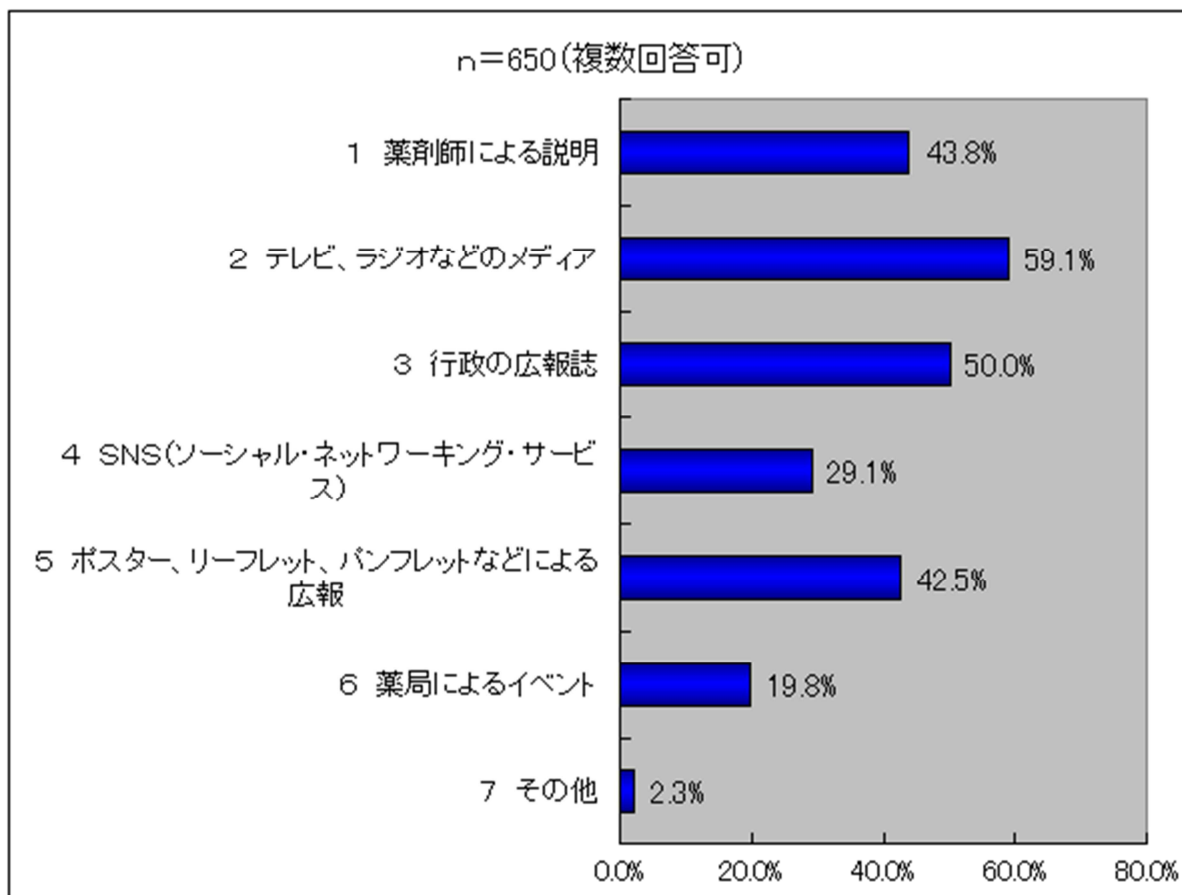
問3 薬局で健康に関する相談ができることを知っていますか。(回答数は1つ)



問4 薬局で薬剤師に相談できるとよいと思うことを教えてください。(複数回答可)



問5 8月から地域連携薬局（外来受診、入退院、在宅医療での薬のことについて、いつでも医療機関などと連携して患者を支えていく薬局）と専門医療機関連携薬局（抗がん剤などの専門性の高い薬を使用している患者を支えていく薬局）の認定制度が始まりました。薬局の機能に関する広報啓発はどのような方法が効果的だと思いますか。（複数回答可）

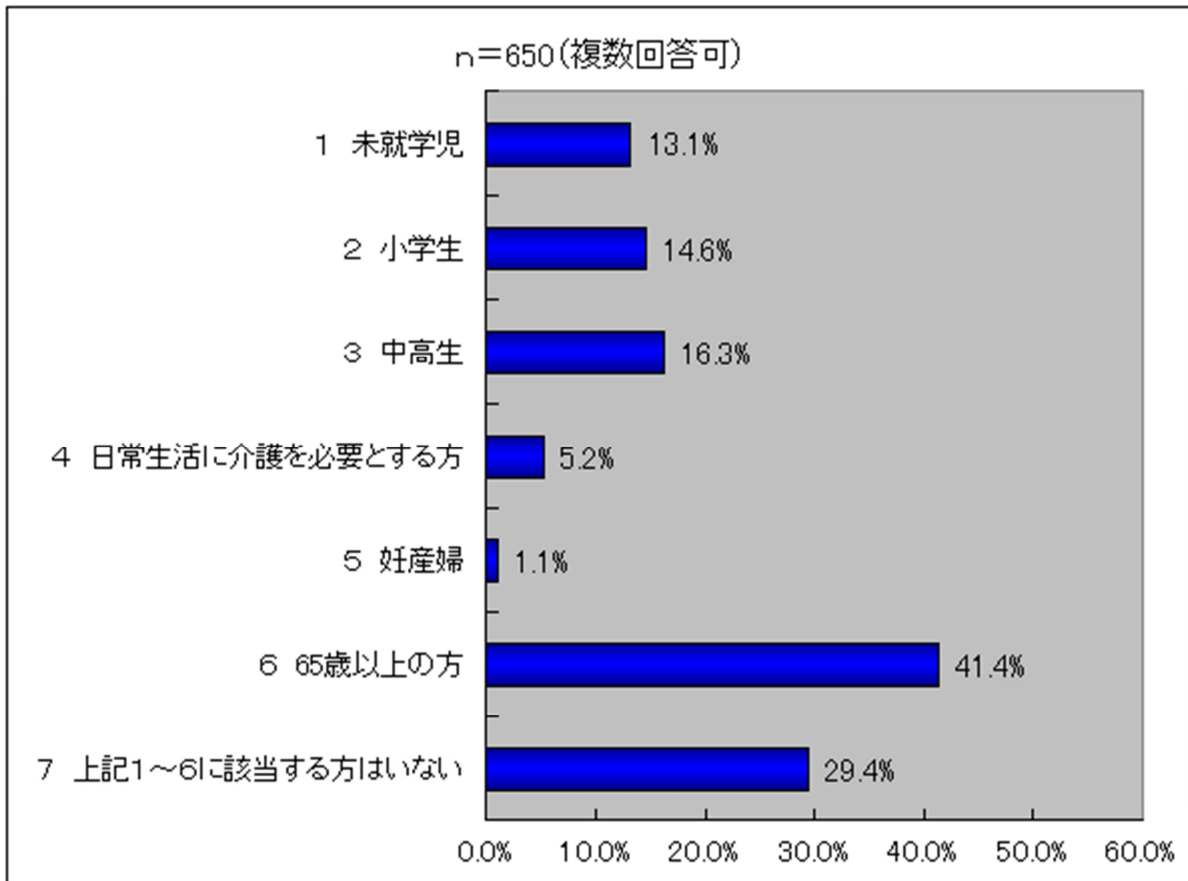


問6 地域において薬剤師・薬局が果たす役割として期待することなどについて、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。（500文字以内）

担当課 健康福祉部生活衛生局薬事課  
 TEL 054-221-2412  
 FAX 054-221-2199  
 メール [yakuji@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:yakuji@pref.shizuoka.lg.jp)

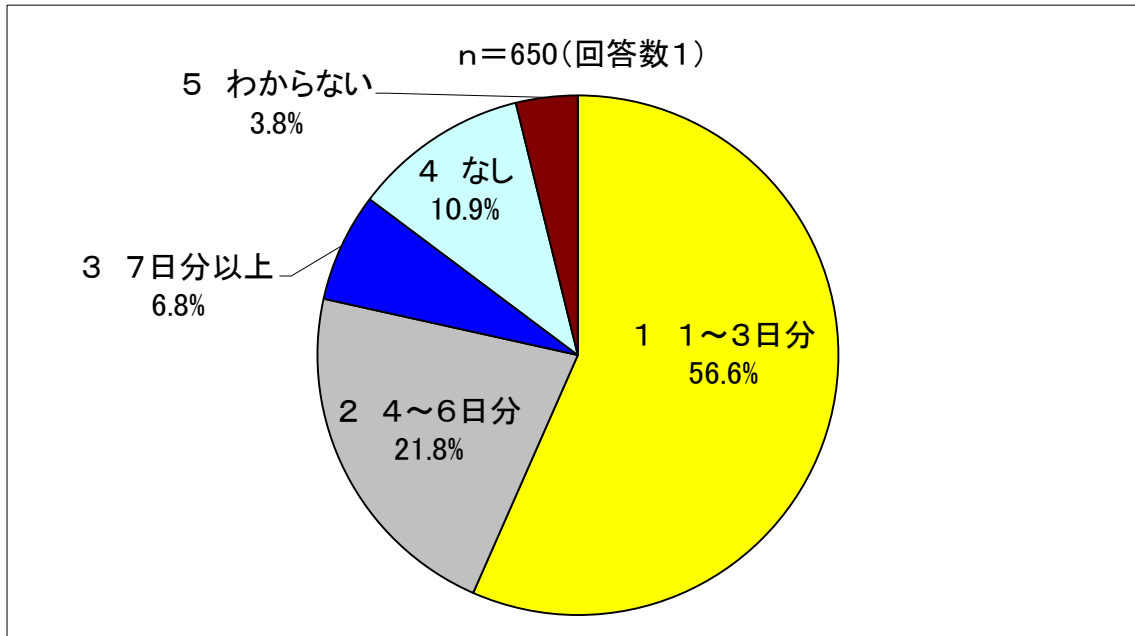
○南海トラフ地震についての県民意識調査－巨大地震に対する備え

問1 同居されている方のうち、次に該当する方がいますか。(複数回答可)

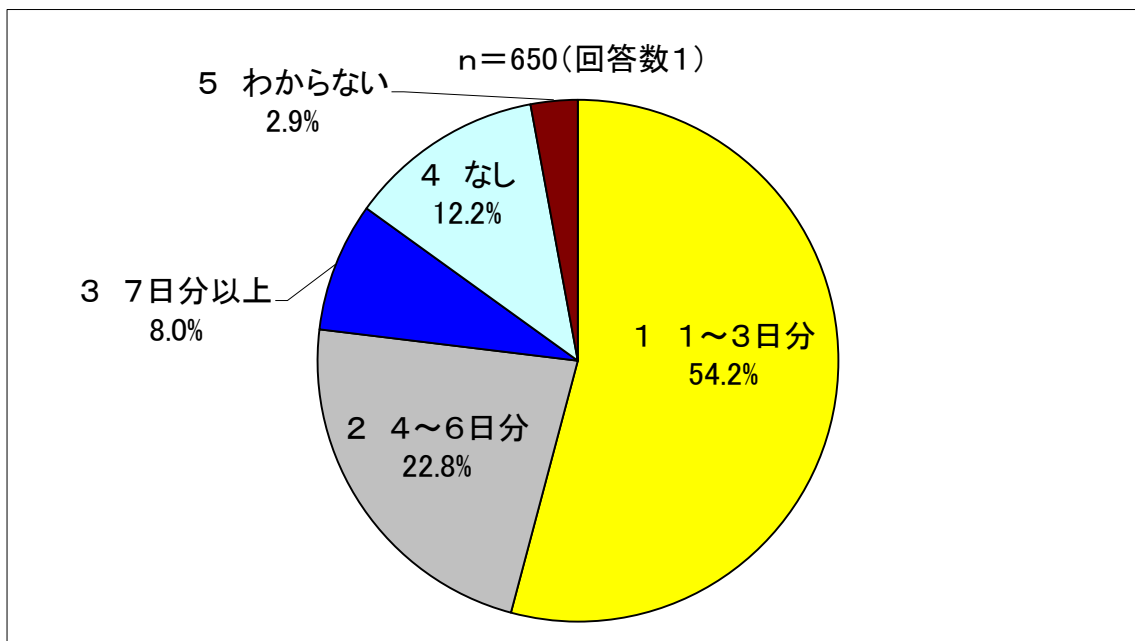


問2 南海トラフ巨大地震のような大規模災害時には、公的な支援物資がすぐに届かず、また、スーパー・コンビニなどの食料品や日用品がすぐ品切れになることも予想されます。このため、各家庭において水や食料を備蓄することが重要です。

日頃の備えとして、あなたのお宅では、家族全員分の食料は概ね何日分ありますか。ご家族ひとりあたり1日3食として計算してください。(回答数は1つ)



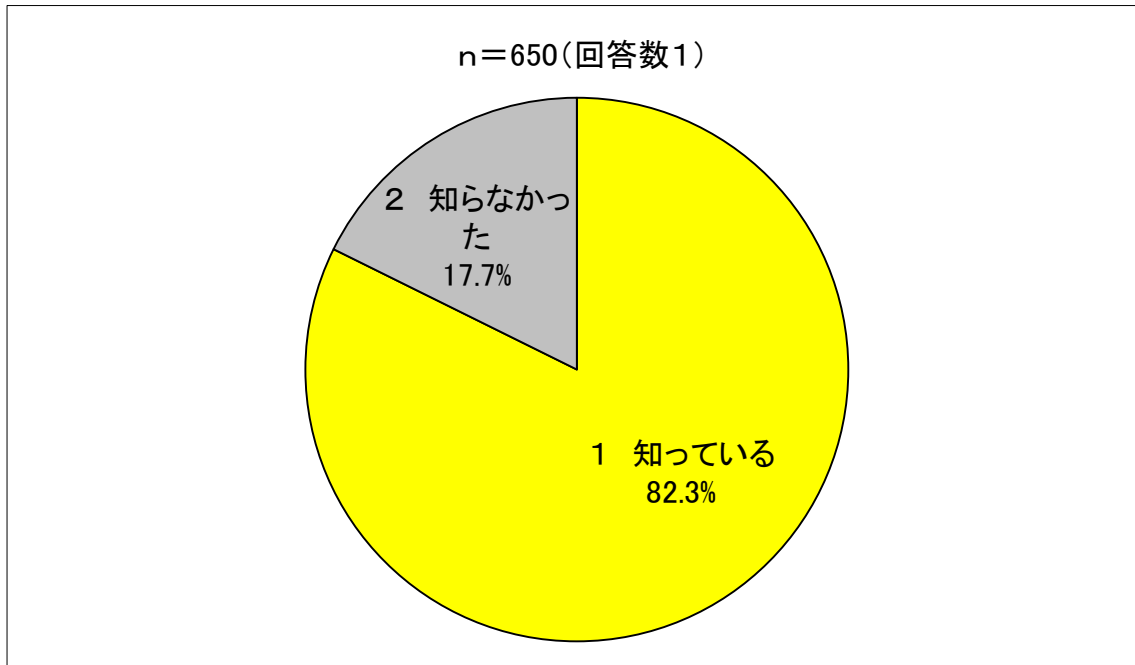
問3 日頃の備えとして、あなたのお宅では、家族全員分の飲料水は何日分ありますか。ご家族ひとりあたり1日3リットルで計算してください。(回答数は1つ)





問4 水や食料を備蓄する際、ローリングストックという備蓄方法がありますが知っていましたか。(回答数は1つ)

※ローリングストック法は日常的に非常食を食べて、食べたらいしを買い足すという行為を繰り返し、常に家庭に新しい非常食を備蓄する方法です。



問4-2 災害時の水・食料を確保する方法として家庭で工夫していることを教えてください。(回答は任意)(500字以内)

例：家庭菜園を行っている。キャンプ等野外活動を通して調理技術を身につけたり、機材を準備している。

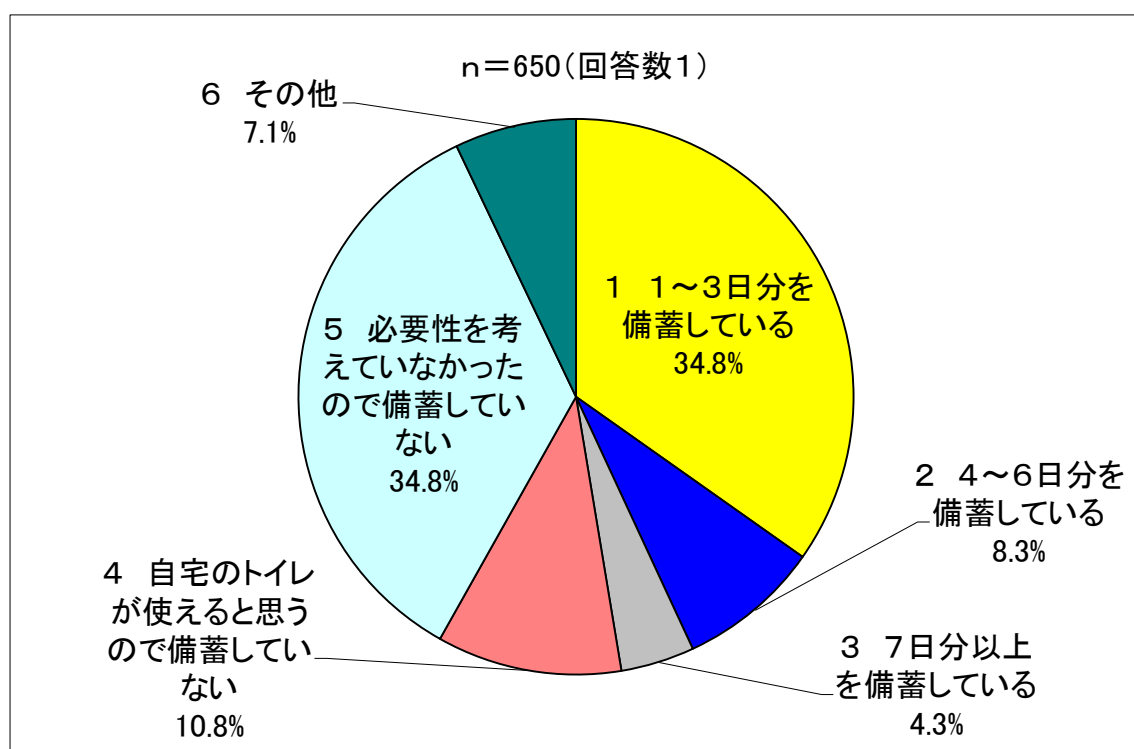
※(参考) 災害時の備蓄についての解説はこちらです。ぜひご覧ください。

<https://www.pref.shizuoka.jp/bousai/chosa/documents/zitakudenoseikatukeizokukeihatu.pdf>

問5 大規模地震が発生すると、水洗トイレが使用できなくなる恐れがあります。あなたのお宅では、概ね何日分の携帯トイレ・簡易トイレを備蓄していますか。ご家族ひとりあたり1日5回分として計算してください。(回答数は1つ)

※(参考) 携帯トイレについての解説はこちらです。ぜひご覧ください。

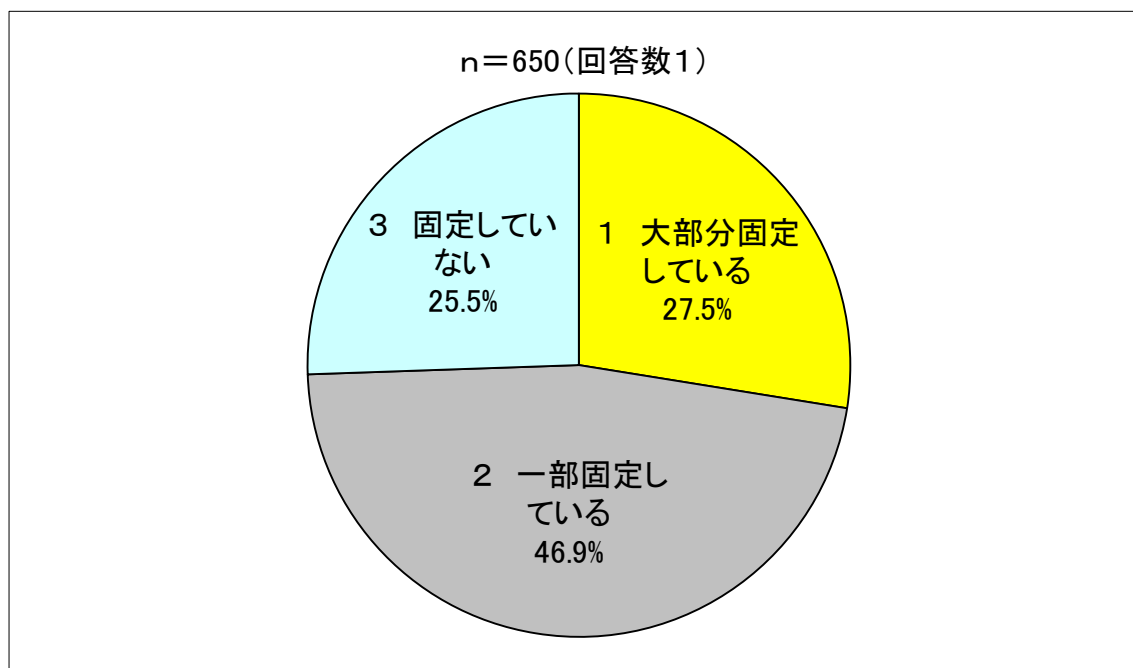
<http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/chosa/documents/toilet-reserved.pdf>



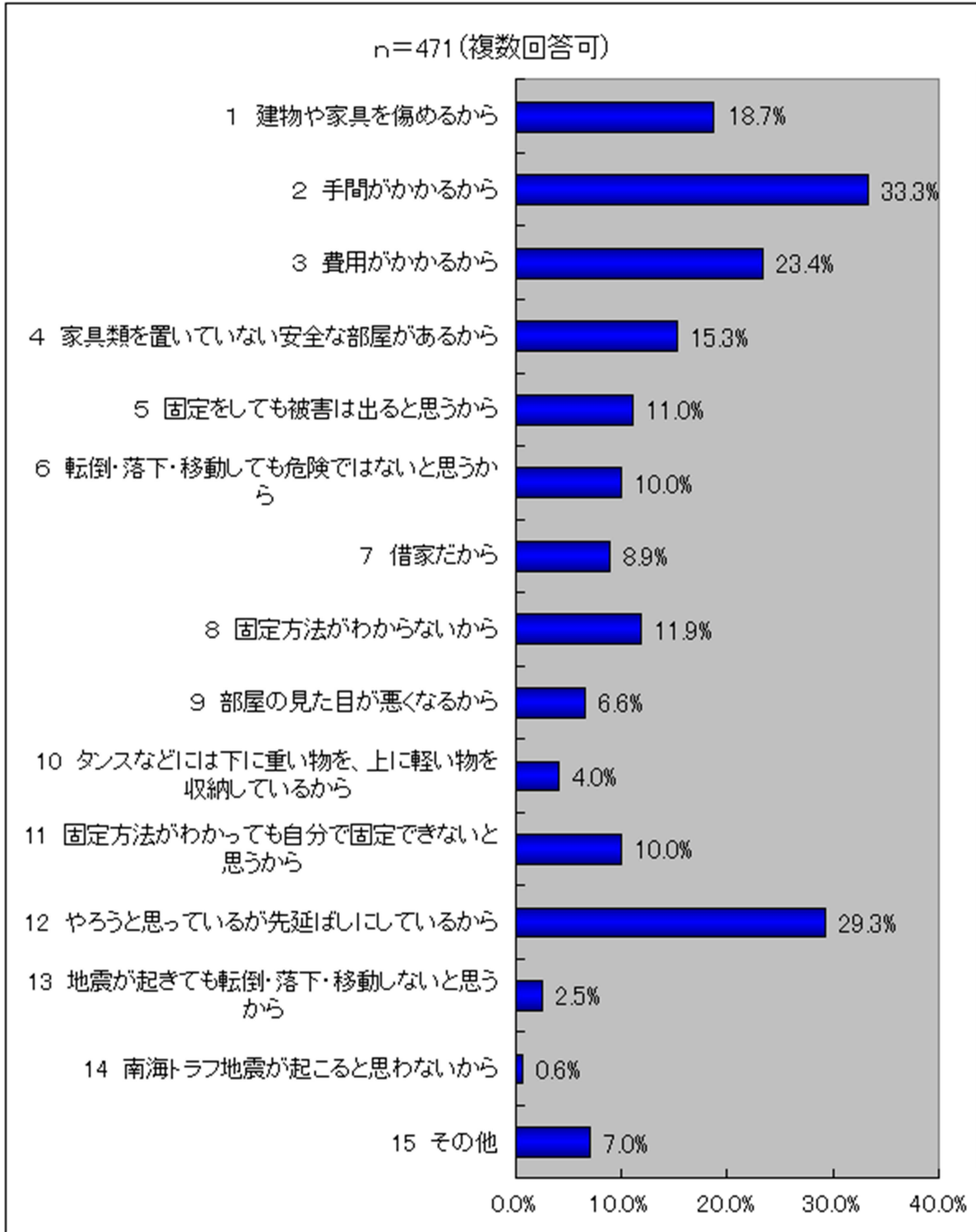
問6 大地震による被害の有無は、家の耐震化だけではなく、家具の固定の状況に大きく影響されます。

1995年の阪神・淡路大震災では、死亡者6,434人の10%、負傷者43,792人の46%が家具の転倒によるものです。(死亡者数、負傷者数は平成17年12月22現在のものです。(消防庁調べ))

あなたのお宅では、地震に備えて家具類の固定をしていますか。(回答数は1つ)



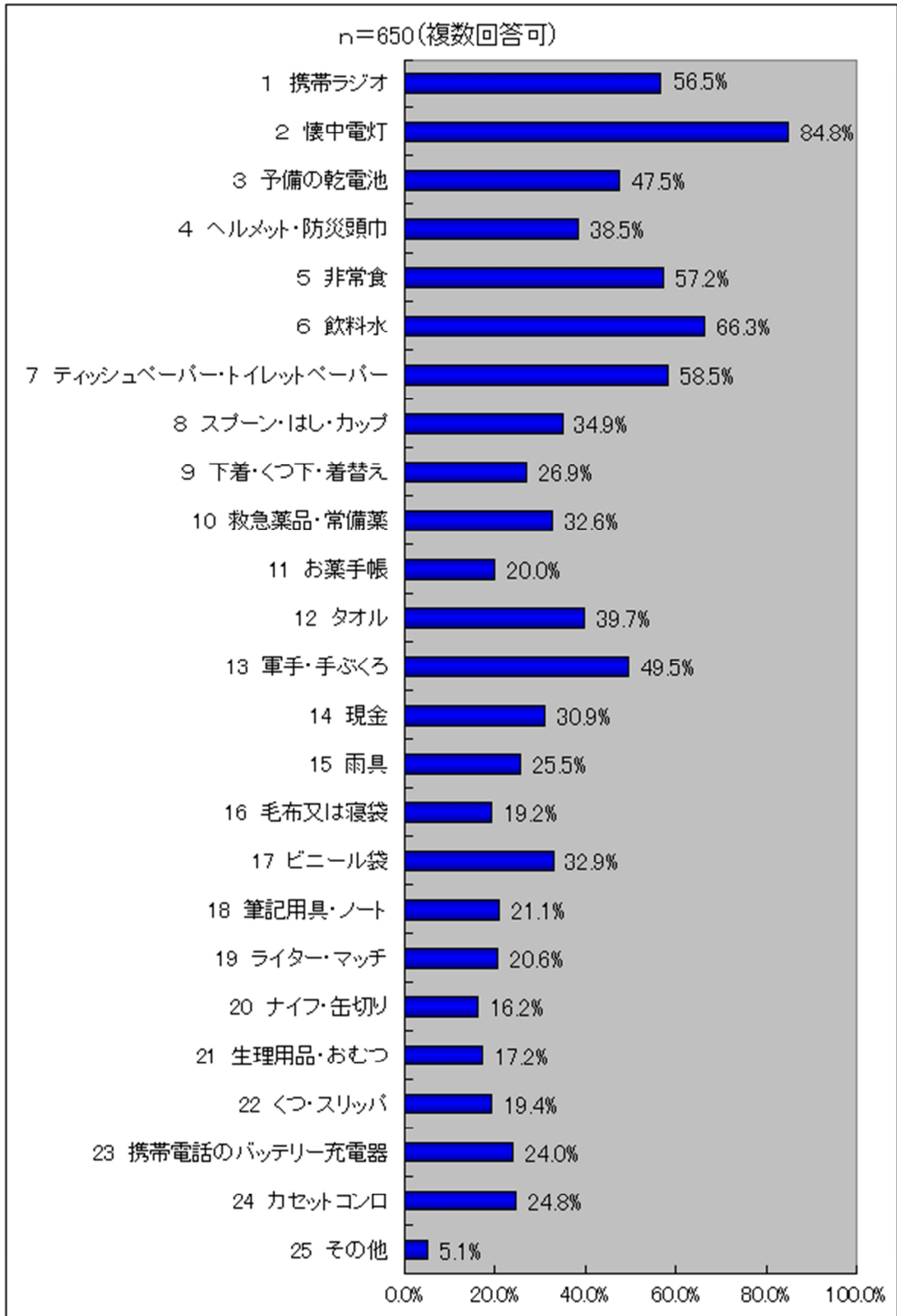
問6-2 固定していない家具があるのはどのような理由からですか。(複数回答可)



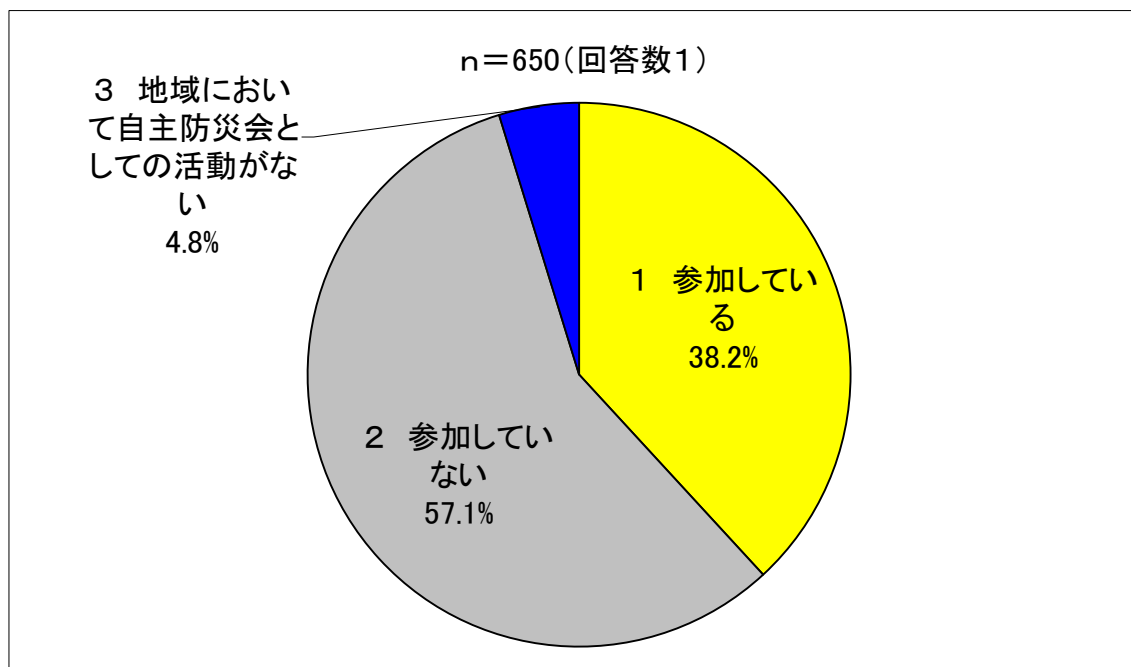
問7 次にあげるものの中で、南海トラフ地震に備えて自宅や日常生活で実施している防災対策はありますか。(複数回答可)



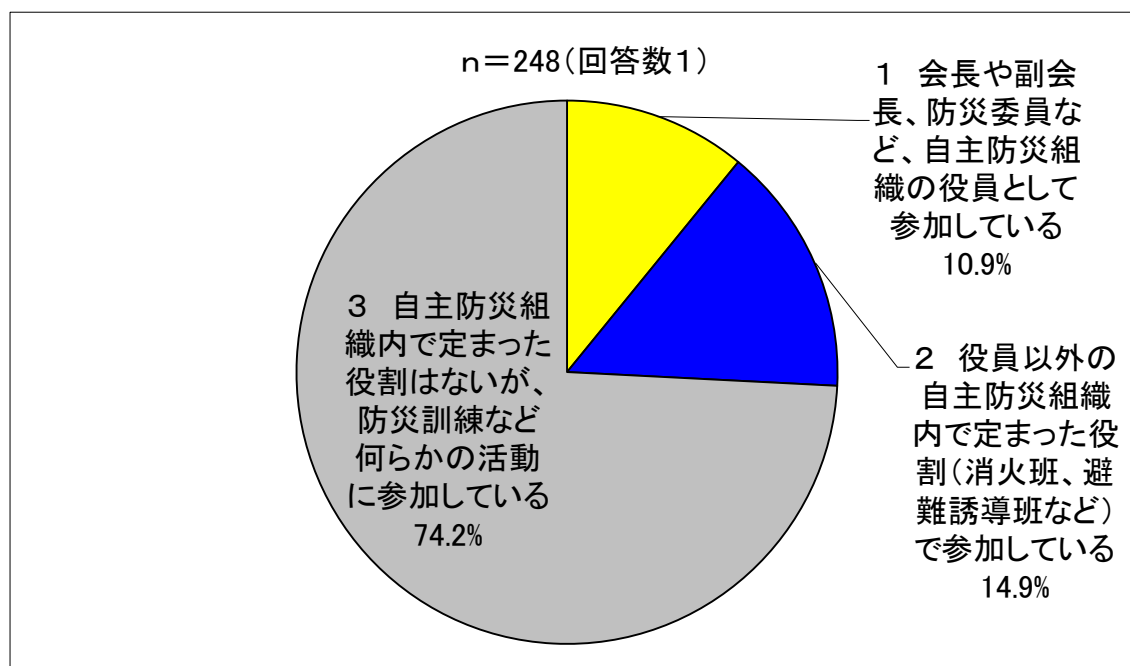
問8 非常持出品として何を用意していますか。(複数回答可)



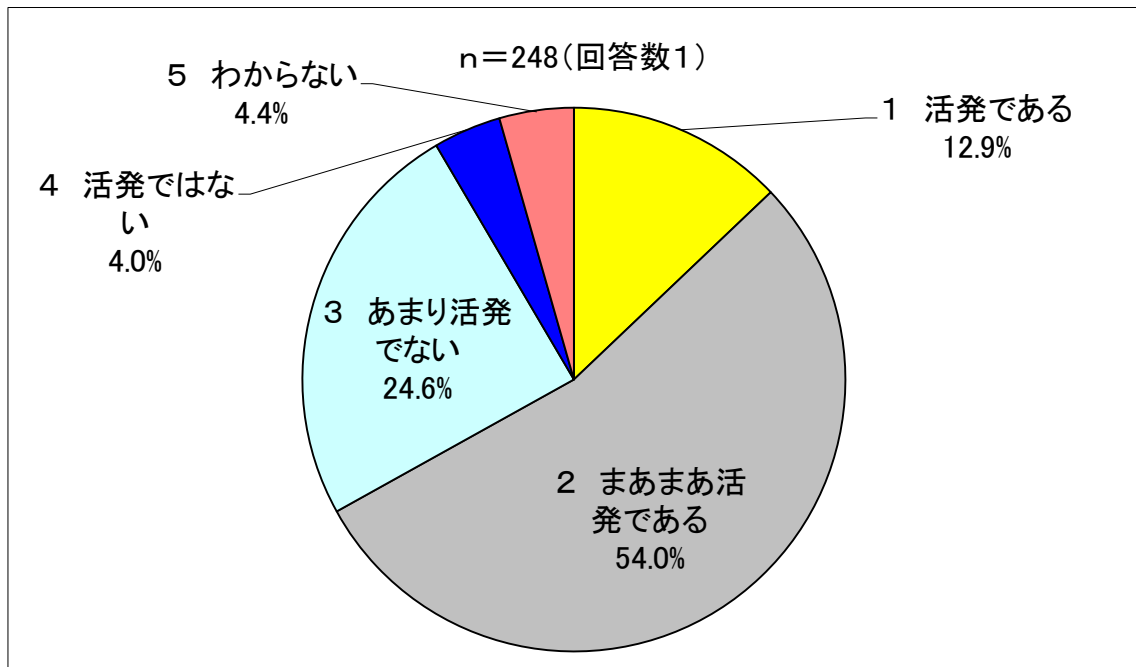
問9 あなたは、地域の自主防災会の活動に参加していますか。(回答数は1つ)  
 (※新型コロナウイルス感染防止のため、活動を休止している場合は、2を選択してください。)



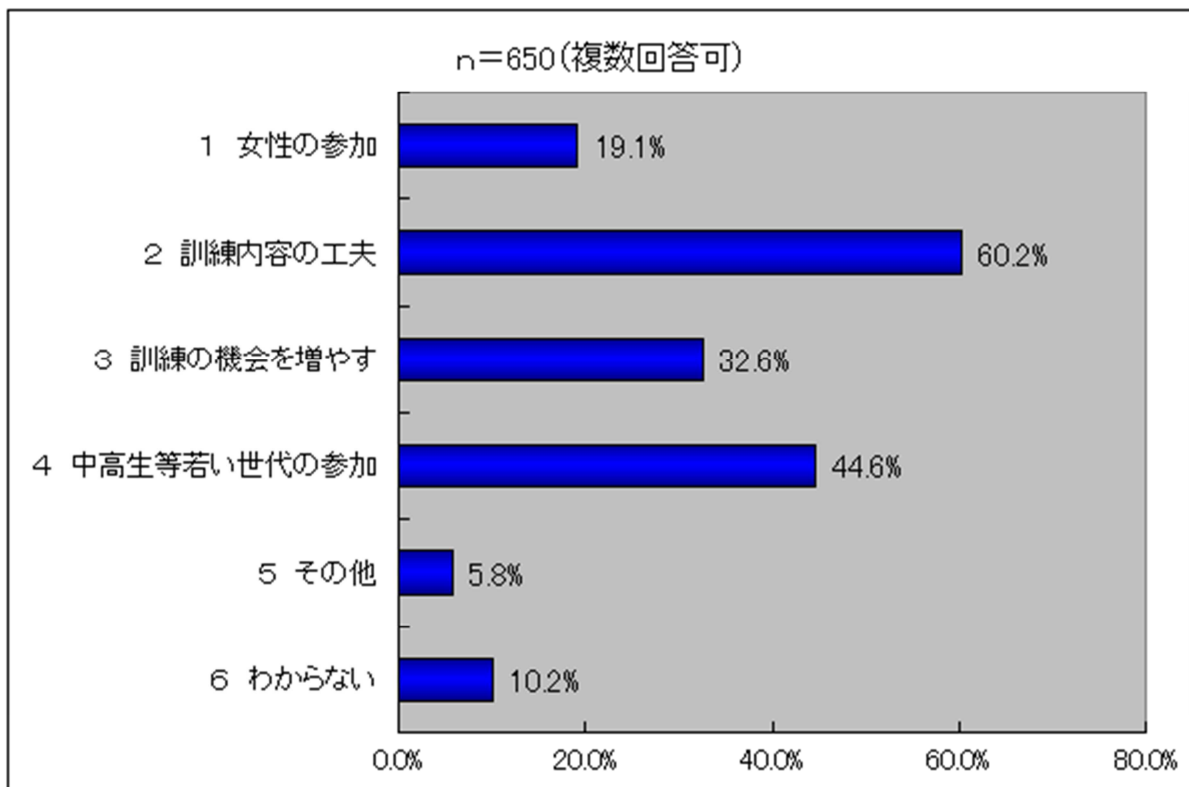
問9-2 あなたは、どのような形で活動に参加していますか。(回答数は1つ)



問9-3 あなたは地区の自主防災会の活動をどう思いますか。理由とともにお答えください。(回答数は1つ)



問10 自主防災活動を活性化するには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答可)





問 11 今後、県や市町が行う防災対策について、要望がありますか。(自由回答) (500字以内)

※ (参考) 最後に、防災情報を入手するスマートフォンのアプリを紹介します。

<http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/application.html>

担当課 危機管理部危機情報課  
T E L 054-221-3366  
F A X 054-221-3252  
メール boujou@pref.shizuoka.lg.jp